

元外務副大臣・元内閣府副大臣 国土交通委員長 自由民主党 衆議院議員 2022年1月号

中根かずゆき News



あけましておめでとうございます。

昨年は、新型コロナとの戦いが続く中、首相の交代、そして総選挙と、政治の世界でも大きな動きがありました。私も、皆さまの日ごろからの温かいご支援、ご協力のおかげで、改めて国政の場で働く機会を頂きました。心からの感謝を胸に、改めて、日本国、そして地元埼玉六区の皆さまのために粉骨砕身活動して参ります。

本年もどうぞよろしくお願ひ申し上げます。

さて、総選挙後の特別国会において、衆議院の国土交通委員長を拝命いたしました。国会における国土交通行政の議論をリードする立場となり、改めて身の引き締まる思いです。道路などの交通網の整備、老朽化したインフラのメンテナンス、ダムなどの防災対策、新型コロナの影響を受けた観光産業の立て直しなど、命と豊かさにつながる重要な、そして対策にお金のかかる課題が山積しています。その一つ一つに熟議を尽くし、より無駄なく、安心して暮らしやすい国土づくりに取り組みます。

この鴻巣市においても、上尾道路・新大宮上尾道路の整備と、大規模河川である荒川の水害対策については特に、原口市長、中屋敷県議、市議団の皆さまと共に、地域の声を国政に届け、その必要性に見合う措置が取られるよう取り組んで来ました。

上尾道路・新大宮上尾道路は単なる道路ではなく、命を守る道路です。国道17号の複線化により、日常の渋滞緩和のみならず、消防車・救急車の到着時間の短縮、災害時の緊急車両通行ルート確保といった命を守る効果も期待されます。高齢化が進み、災害も頻発化している昨今、これら道路整備はますます重要になっており、速やかな開通に向け取り組んでいきます。

また、毎年のように日本のどこかで水害が発生しています。鴻巣市も例外ではなく、台風19号の際には大きな被害が出ました。次はいつ、どんな大雨が降るかわからない今、越水対策となる堤防の整備は一刻の猶予もありません。こちらもできるだけ速やかに、災害リスクを抑え込めるよう取り組みます。



地域の声を国政に届け、政策として積み上げ、そして地域の安全安心で豊かな暮らしを守る。それが与党議員の仕事だと信じ、今年も一年取り組んで参ります。

どうか皆さま、温かいご指導とご支援を頂きますようお願い申し上げます。

末筆になりますが、令和四年が皆さまにとっても素晴らしい年になりますように祈念申し上げます。

チャレンジ通信



なかやしき慎一



睦月に思う

皆様、健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。いや～、しかし今年の冬は「寒い」ですね。「原稿」打ちながら外に目をやると、なんと「雪」が降ってきました。第6波に入ったとも言われる「コロナウイルス感染症」に備えていただくとともに、「寒さ対策」もしっかり整えこの冬を乗り越えましょう。

【令和3年度】

- 自由民主党埼玉県支部連合会 組織委員長 政務調査会長代理
- 自由民主党鴻巣支部 支部長
- 埼玉県議会自由民主党議員団 政務調査会長

『埼玉県エスカレーターへの安全な利用の促進に関する条例』施行までのエピソード！！



昨年10月1日に、「埼玉県エスカレーターへの安全な利用の促進に関する条例」が施行されました。この条例の特徴は、エスカレーター利用時の転倒などの事故を未然に防ぎ、安心して安全に利用していただくために、エスカレーター利用時には立ち止まることを「義務」としたことにあります。条例制定時の提案者代表を私が務めさせていただきましたが、対案を提出した第2会派(無所属県民会議)以外のすべての会派と無所属議員の賛同を得て決したものです。

この条例提案に至る過程で、昨年度の県議団政務調査会3役は、エスカレーターの様々な事案を束ねる「日本エレベーター協会」、エスカレーターを製造しているメーカー、エスカレーターの安全性などの研究者の皆さんと様々な意見交換を重ね、

その意義を見出すことができました。係わっていただいた皆さんに感謝いたします、「ありがとうございました。」

さて、条例制定に向けた動きの中で、私自身や私の事務所には様々なご意見も寄せられました。ご高齢の皆さんや女性、そして子育て中のお母さんなどからは「よい取り組みだと思う」「定着するよう頑張ってください」などの評価をいただく意見が多かったものの、企業戦士であろう働き盛りの年齢の男性からは、「人が歩くのを邪魔するな」「電車の乗り換えに間に合うようダイヤ改正しろ」「輸送効率が悪くなる」などの意見も寄せられました。私も「急ぎたい気持ち」は理解できないわけではありませんが、製造メーカーの方が話していたように、「エスカレーターはむき出しの金属」です、転倒すれば必ず「ケガ」を負うことになるでしょう。そして、利用者は「健常」な人だけとは限りません。条例施行から3か月を経過した今、市民、県民の皆様に改めて「立ち止まってのご利用」をお願いいたします。

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、3つの「密」**「密閉」「密集」「密接」**を避けましょう！

鴻巣市議会 会派  **自民党**
こうのす自民ニュース
 発行日：令和4年1月20日  **16号**

12月議会報告

本議会は、令和3年度一般会計補正予算(第9号～第11号)等、23議案が上程され、審議した結果、いずれも原案のとおり同意・可決しました。主な内容は、新型コロナウイルス感染症が長期化し、その影響が様々な人々に及ぶ中、子どもたちを力強く支援し、その未来を拓く観点から、子育て世帯を支援するための給付金などの補正予算です。

また、議員提出議案「鴻巣市議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例」が全会一致で可決しました。1日2,000円の費用弁償が、市議会議員改選時期である令和5年5月1日より廃止となります。

子育て世帯への臨時特別給付金

子育て世帯に対する支援として、18歳以下の子ども1人あたり10万円相当の給付が、国の方針として実施されることになりました。本市としては、現金10万円を一括で支給するため、12月議会最終日の12月17日に補正予算の議案が提出され、全会一致で可決しました。

申請不要 児童手当を受給中の世帯は基本的に申請不要で、児童手当の受け取りの指定口座へ12月22日に支給済です。

申請必要 16～18歳の子どもがいるが、15歳以下の子どもがいない世帯は申請が必要です。

また、支給の対象外となるいわゆる「年収960万円以上」の世帯の児童に対しても、本市独自に支給対象を追加し、児童1人につき5万円の支給を実施いたします。(特例給付を受けている世帯は申請不要) いずれも、市より、申請の案内が郵送されています。



道路や下水道の雨水対策!



近年激しい雨が降ることが多いと感じます。排水能力を超え、道路が冠水してしまうという相談もいただいています。



市道の雨水対策は、道路課と下水道課にそれぞれ関係するため、双方による対策が必要になります。また、令和元年東日本台風の際は市内で市道の道路冠水が43か所、床下浸水が18件報告されています。特に元荒川と箕田赤見台都市下水路が合流する周辺の鴻巣・沼田地区は被害が多く、県では元荒川の嵩上げ工事、川底の泥や川に生えている雑木の除去を行いました。市では箕田赤見台都市下水路も嵩上げや水門の対応工事が令和3年1月に完了し、今年度中にポンプ場の遊水池の泥の除去を行い、その後上流部の浚渫をすることになります。

水路には市の管理ではないものもあるため、水害を防ぐためにはそれらの管理者との調整も必要になります。水害の無い安心・安全な生活確保のため、計画的に事業を進めることを担当課に確認しました。

のもと
恵司

国民健康保険税の引き上げについて!



埼玉県はどこに住んでいても同じ世帯構成・所得であれば同じ保険税となるよう保険税水準の統一が進められています。令和9年度の埼玉県内での保険税水準の準統一に向けて段階的な引き上げを行うための改正です。ほぼ全世帯で引き上げになりますが、未就学児のいる世帯に対しては軽減措置が行われます。多子世帯減免も継続されます。こうのす自民は、段階を踏んで取り組む必要があることとともに、加入者が支払う保険税と給付される医療費等の負担と受益の公平性も重要であると考えており、保険税の引き上げを盛り込んだ条例改正の議案に賛成しました。

坂本 国広

※令和3年度 特定健康診査は、実施期間が令和4年2月28日(月曜日)までに延長されました。



新型コロナウイルス、第6波の備えは!



日本での感染者数は昨年秋頃より減少傾向にありましたが、年末ごろから増加傾向となり、現在では新変異株オミクロンの市中感染も出ており、第6波に入ったともいわれ、今後の更なる感染拡大が心配されています。

これまで公共施設の利用制限や学校行事、市の行事などの中止や自粛が相次ぎ、市民の生活が大きく制限されましたが、鴻巣市においては緊急事態宣言発令中もクラスターが発生することはありませんでした。第6波が懸念される今後も引き続き感染予防対策を徹底して参ります。

子どもたちの教育環境について教育委員会は「学校行事の教育的意義を踏まえううえで各校が行事の実施に向けて最大限の配慮をしながら指導していく」としています。今後も子どもたちへの配慮と市民への情報発信がより深く、広く行き渡るよう要望して参ります。

しばさき
和好

性の多様性の理解を深めるための取組!



性的指向や性自認が差別やいじめの原因になることがあります。また、これらの悩みを抱えた子供が自己否定や疎外感を抱くこともあります。学校や自分の生活空間に一人でもLGBTに理解のある人がいるだけで30%も希死念慮(死にたい、消えてしまいたいと思う気持ち)が下がるそうです。最も長く過ごす学校で、性の多様性を認め合う教育を推進することが重要です。

代表
とんじよ
すみ江

学校において、LGBTの児童生徒に対して、適切な配慮が行われるようトイレの利用、健康診断や宿泊行事、制服及び服装や髪型、体育の授業等での着替え、体育や保健体育、水泳などの授業において、本人の希望に寄り添う配慮を求めました。





自民党県議団ニュース

埼玉県議会自由民主党議員団



県民ニーズを的確に捉え、県政をリードする自民党県議団!



所属議員：長峰宏芳 小谷野五雄 小島信昭 齊藤正明 宮崎栄治郎 本木茂 田村琢実 高橋政雄 神尾高善 諸井真英 木下高志 中屋敷慎一 梅沢佳一 新井一徳 須賀敬史 武内政文 齊藤邦明 小川真一郎 白土幸仁 岡地優 荒木裕介 新井豪 立石泰広 小久保憲一 日下部伸三 永瀬秀樹 細田善則 岡田静佳 内沼博史 横川雅也 飯塚俊彦 浅井明 宇田川幸夫 松澤正吉 良英敏 美田宗亮 藤井健志 木下博信 関根信明 宮崎吾一 高木功介 松井弘 渡辺大 千葉達也 山口京子 逢澤圭一郎 高橋稔裕 阿左美健司 杉田しげみ(以上49名)



団長ご挨拶

埼玉県議会自由民主党議員団

団長 小島 信昭

謹賀新年

皆様に於かれましては、健康やかに新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。平素は、埼玉県議会自由民主党議員団の活動にご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

行う「新型コロナウイルス感染症対策特別委員会」では、県民の安全・安心に繋がる意見・提言を行うことで、現在の県のコロナ感染症対応に活かされているものと自負しております。

昨年は、新型コロナウイルス対策に奔走した一年でありました。本県に於いても新型コロナウイルス感染者が昨年二月に確認され、以後感染症対策に追われ、県議会に於いても、補正予算を令和三年度だけでも十三度審議すること、県民のコロナ禍に於ける生活の安心に繋げて参りました。また、コロナ対策に於ける県の執行体制の検証等を

この他にも、県議団にて取り組んだ主な施策についてご紹介致します。昨年二月定例県議会に於いて自民党県議団にて提出・可決された「埼玉県エスカレーター」の安全な利用の促進に関する条例」が十月に施行されました。この条例は、エスカレーターの安全な利用を確保し、もって県民が安心して暮らすことのできる社会の実現に寄与すること

を目的とし、全国初で制定施行致しました。全国的に注目を頂いている条例であり、県民の皆様のご理解とご協力にてエスカレーター

また、昨年十二月定例会では、「埼玉県動物の愛護及び管理に関する条例の一部を改正する条例」を自民党県議団にて提案し、成立致しました。犬・猫の殺処分ゼロに向けた取り組みや、動物取扱業者の更なる適正化、県の責務として市町村や動物関係団体等と連携すること等を明記し、本県の動物の愛護及び管理に関する取り組み全体を強化するものです。

今後、時代の変化に即応できる政策に取り組むこと、県民の側に立った県政運営を行って参ります。県民の皆様が自民党県議団への更なるご支援とご協力をお願い申し上げます。

『埼玉県エスカレーターの安全な利用の促進に関する条例』が施行されました!

「埼玉県エスカレーターの安全な利用の促進に関する条例」が、令和三年二月定例会にて自民党県議団の提案により上程され、賛成多数で可決成立致しました。

この条例は、エスカレーターの安全な利用の促進に関し、県、県民及び関係事業者の責務を明らかにするとともに、エスカレーターの利用及び管理に必要事項を定めることにより、エスカレーターの安全な利用を確保し、もって県民が安心して暮らすことのできる社会の実現に寄与することを目的としています。

この条例では、利用者の義務として「立ち止まらう!!」と義務規定を設けました。罰則規定はありませんが、今後の利用状況を鑑み改正を検討することを附則に盛り込んでいます。

県民の皆様のご協力をお願い致します。

健全な動物共生社会を目指し!

『埼玉県動物の愛護及び管理に関する条例』

改正条例を自民党県議団が提案・成立!

埼玉県動物の愛護及び管理に関する条例は、県民の動物愛護の精神の高揚を図り、動物の健康及びその安全を保持することにも、動物による人の生命、身体及び財産に対する侵害を防止することを目的とした条例であります。本県では、この条例に基づき、動物の愛護及び管理に関する施策を実施してきたところで、今回、この条例を改正し、動物の愛護及び管理に関する取組全体を強化致します。

条例改正のポイントの1点目は、「犬・猫の殺処分数削減」です。このため条例に「飼い主になる者等の知識習得に努め、自身の現在と将来にわたる生活環境などを考慮してその動物がその生命を終えるまで飼うことができるか、しっかりと考える責務を規定しました。また、適正に飼養できると認められる者に対する譲渡推進の姿勢をより強く示すため、県が譲渡できるとしている犬猫に、所有者不明で収容した犬猫などを明記いたします。2点目は、動物取扱業者の更なる適正化です。「動物の愛護及び管理に関する法律」が改正され、令和3年6月1日から動物取扱業者に関する遵守基準が具体化されたこと等があります。本県としても動物取扱業者の更なる適正化に取り組みが必要があります。今回の条例改正では、「動物取扱業者の責務」を新たに規定し、遵守基準を始めとする法令順守は基本として、最新の動物の知識の習得と情報の発信を主体的に取り組みする責務を規定しました。また、県の責務に連携規定を追加して、市町村や動物関係団体等と連携することや、動物愛護推進員の活動を新設して、県に対して情報提供をしてもらうことなどにより、本県の動物の愛護及び管理に関する取組全体を強化するものとしております。



条例改正案を検討する政務調査会の様子



本条例により、犬猫の殺処分数の削減や動物取扱業者の適正化、更には動物の愛護及び管理に関する取組全体の強化が図られるものと考えております。

「政策大綱」を提言・提案!

自民党県議団が令和四年度予算編成に関する

「政策大綱」「市町村要望」を県知事に提出!

自民党県議団政調会が取りまとめた「令和四年度政策大綱(合計384項目)」及び「令和四年度埼玉県予算等に対する要望(市町村要望195項目・議員要望46項目)」を、大野知事に提出し、令和四年度の埼玉県予算並びに施策の編成に反映するよう申し入れを行いました。

令和四年度の予算については、引き続きコロナ対策、ポストコロナをにらんだDXをはじめとする新しい生活様式、更には経済の再生に向けた対策や災害に強い県土づくり等が不可欠であり、対応した予算を求めました。知事からは、予算編成に際しては各局に周知を図り、ポストコロナに向けた検討をさせて頂きたいと前向きな返答がありました。



大野知事に政策大綱を提言する自民党県議団役員

建設業関連の課題検討PT



建設業関連の課題検討プロジェクト・チームでの審議の様子

自民党県議団では、県内建設業関連の課題を把握し、改善に努める為に「建設業関連の課題検討プロジェクト・チーム」を設置し、取り組みを行っています。

この度、県内の建設事業者に対して行ったアンケートの結果、発注者の県と受注者たる事業者の関係において、一方的で対等とは言えない現状が判明しました。また、最低制限価格の引き上げや発注の平準化などのご意見を賜りました。

このアンケート調査の結果を施策に反映するために、大野知事に対し改善を求めた要望を行いました。大野知事からは、契約書の順守の徹底を図ると回答がありました。また、更なる平準化とともに、最低制限価格の引き上げが実施されました。

埼玉県議会議員 行動力! 実現力!

なかやしき慎一

埼玉県議会自由民主党議員団 県政調査事務所

住所: 埼玉県鴻巣市東3-11-18-103

電話: 048-541-8110 / FAX: 048-541-0256

ホームページ: <https://nakayashiki.net/>





なかやしき慎一 第126代 埼玉県議会 議長に就任

鴻巣市からの県議会議長への就任は、昭和57年島田博元市長以来40年ぶり！

チャレンジ通信

埼玉県議会議長
埼玉県議会自由民主党議員団

なかやしき 慎一

卯月に思う

「月日は百代の過客にして
行き交う年もまた旅人なり」
言わずと知れた、松尾芭蕉の「奥の細道」の一説です。まさにこの一説のように、私の県議会議員生活も3月末で丸15年を経過し、旅人のごとく過ぎ去って来たように思います。この15年の旅を大過なく過ごせましたのも、ひとえに日ごろからご支援賜っている皆様のおかげと、改めて感謝申し上げます。

さて、表題にありますように私、なかやしき慎一は、3月25日県議会2月定例会最終日の令和4年度議長選挙におきまして、現員88名中59名(自民・公明・改革)の投票を賜り、第126代埼玉県議会議長に就任させていただきました。

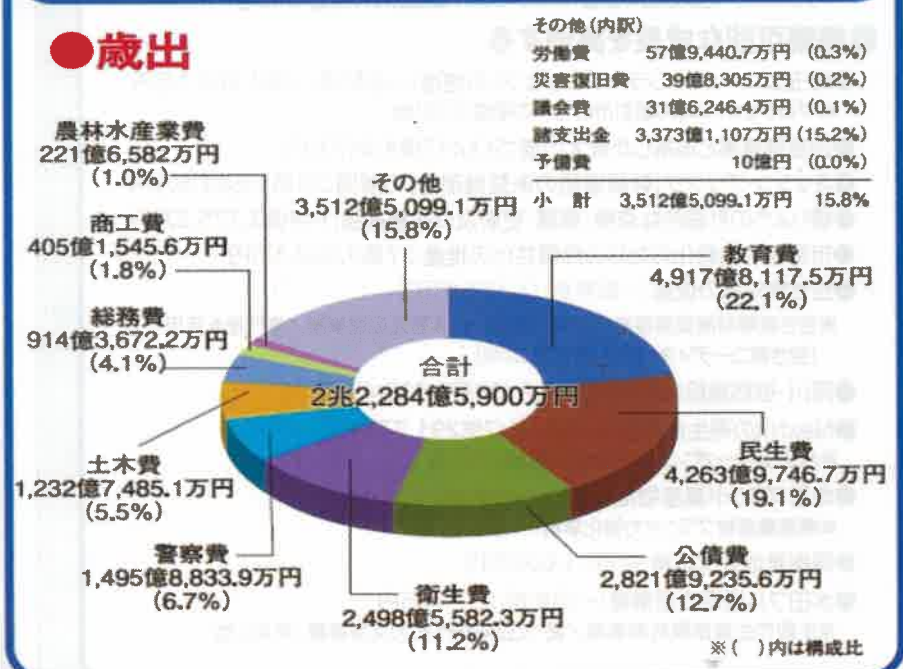


県議会2月定例会報告 県政史上最大規模 《一般会計当初予算》2兆2,284億5,900万円を議決

県議会2月定例会は2月17日に開会し、過去最大となる一般会計当初予算2兆2,284億5,900万円等を議決し、3月25日に閉会しました。

高齢者施設などのクラスター対策の強化などが盛り込まれました。またウィズコロナの下、その有用性が高まっているデジタルトランスフォーメーション(DX)の推進についても、県庁のDX化を進めるために約31.8億円、中小企業のDX化支援に約1.8億円、キャッシュレス決済の導入を進める商店街支援に約1.4億円などが計上されました。

令和4年度埼玉県一般会計当初予算



令和3年度補正予算について

2月定例会では令和4年度当初予算に加えて、令和3年度2月補正予算【第14号】【第15号】【第16号】を議決しました。

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、3つの「密」「密閉」「密集」「密接」を避けましょう！

一般会計
当初予算

令和4年度の主な新規・拡大事業を報告します

当面する危機からの脱却、回復・成長

【新型コロナウイルス感染症の拡大防止】

■検査・医療提供体制等の確保……1,705億1,649.9万円

- 検査・医療提供体制の強化(一部新規):1,379億9,614.5万円
- 軽症者等の療養体制の確保:283億3,184.6万円
- 県民相談体制の強化:14億3,687.9万円
- 感染者フォローアップ体制の強化:26億7,496.8万円

■新型コロナワクチン接種の推進……99億7,026.5万円

- 接種医療機関等への支援(新規):69億9,678万円
- 埼玉県ワクチン接種センターの運営(4か所に拡充):26億9,042.2万円
- 副反応等の相談窓口の運営・正確な情報の周知:2億8,306.3万円

■福祉施設における感染拡大防止……27億7,462.4万円

- 介護施設等における感染拡大防止対策への支援:9億8,230万円
- 児童福祉施設等における感染拡大防止対策への支援(新規):14億6,035.5万円
- 福祉施設におけるリリーフナース制度の構築(新規):5,286.4万円

【ウィズコロナ下での経済回復・成長】

■事業再構築の取り組み等への支援……2億9,962.4万円

- 中小企業事業再構築支援事業(新規):2億3,121.6万円
- 中小企業経営革新促進事業:6,172.9万円
- 地場産業のチャレンジ支援事業:667.9万円

■中小企業におけるデジタル人材の確保・育成の支援……2億3,980.1万円

- 即戦力となる人材確保を支援(新規):1億7,438.4万円

- デジタル分野における人材の育成を支援(新規):2,136.7万円
- 女性のデジタル人材育成推進事業(新規):4,405万円

■デジタル化によるビジネスモデルの転換支援……5億5,225.6万円

- 県内中小企業のDX推進(一部新規):1億6,052.9万円
※県内企業のDX推進(新規:2,594.8万円)／経営革新デジタル活用支援事業(新規:1億1,513万円)他
- 技術・製品の開発支援とAI・IoTの活用支援(一部新規):2億2,468.9万円
- オンラインを活用した販路開拓支援(一部新規):2,317.5万円
- キャッシュレス決済の導入に取り組む商店街への支援(新規):1億4,386.3万円

■行政のデジタルトランスフォーメーション(DX)の推進……19億454.2万円

- DXの推進(一部新規):7億5,232.4万円
※デジタルライゼーションツールの運用(5億5,283万円)／情報連携プラットフォーム整備計画事業(新規:4,508.5万円)他
- DXの推進に向けた基盤整備(新規):11億5,221.8万円
※基幹系業務システムの最適化(5億1,172.4万円)他

■エッセンシャルワーカーの処遇改善……136億3,125.5万円

看護師	保育士、幼稚園教諭、 介護施設や障害福祉施設職員等
収入を1%程度引き上げ (月額4,000円) ※10月以降は診療報酬の改定により3%程度へ	収入を3%程度引き上げ (月額9,000円)

日本一暮らしやすい埼玉に向けた将来像の実現

■交通安全対策の推進

- 交通安全施設整備:52億9,436.9万円
※通学路における歩行者用信号機増設による安全対策の推進／ゾーン30プラスの整備による生活道路対策の推進他
- 歩道や自転車通行空間の整備:26億6,594.3万円
- 子どもの命を守る通学路の緊急対策(新規):8,000万円
※令和4年度は170箇所安全対策を実施



対策後

■ケアラー・ヤングケアラーへの支援

- ヤングケアラー支援体制の整備(新規):2,991.1万円
※ヤングケアラー支援推進協議会の設置・検討、コーディネーターの配置／ヤングケアラーの早期発見・把握の体制づくり他
- ケアラー支援事業の推進:7,036.7万円
※市町村等支援事業他
- 教育相談支援体制(ヤングケアラー等)の充実(一部新規):10億751万円



■地域の医療体制の充実

- 遠隔妊産婦モニタリング支援設備を活用した産科医療体制整備事業(新規):4,511.4万円
- 大動脈解離の救急医療体制の整備(新規):639.3万円
- 医師確保対策の推進(一部新規):9億130.9万円
※県総合医局機構の推進／医師にとって魅力ある埼玉ブランドの構築(一部新規)他
- 埼玉版ネウボラの推進(一部新規):2億6,899.5万円
※母子保健と児童福祉の一体的相談支援体制の構築(新規)他



■児童虐待防止対策の強化

- 児童虐待相談対応の充実(一部新規):1億3,055.2万円
※音声認識による記録の自動作成システムの導入や児童虐待の類似事例検索機能の追加等ICTを活用した児童相談所の業務効率化
- 市町村における相談体制強化の支援(一部新規):3,907.3万円

■多様なニーズに対応した教育の推進

- 学習環境のデジタル化(一部新規):7億6,195.6万円
※県立学校におけるICT環境整備と活用支援事業(一部新規)／データサイエンス・AIリテラシー活用における調査研究(新規)／県立高校オンライン講座の実施(新規)他
- いじめ・不登校対策相談体制の充実(一部新規):9億7,825.1万円
※スクールカウンセラーの配置／オンライン相談の実施(新規)他
- 特別支援学校の整備(一部新規):48億9,513万円

■誰もが生き生きと活躍できる社会へ

- 若者人材の県内企業への就職支援(一部新規):5,992.2万円
※県内企業合同インターンシップ情報説明会の開催(新規)他
- 女性のキャリアアップへの支援(一部新規):2億4,832.5万円
※潜在的求職者チャレンジ応援(新規)／多様なニーズに対応した就業支援他
- 障害者が安心して暮らせる場の確保(一部新規):16億2,256.9万円
※重度障害者グループホームの整備・支援体制の強化(新規)他
- 分身ロボットを活用した障害者就労支援事業(新規):170.8万円
- LGBTQへの支援(一部新規):2,000.7万円
※大学生向けアライの取り組み(新規)／企業を対象としたLGBTQ指標制度の導入(新規)／相談窓口の設置(新規)／LGBTQ懇話会の開催(新規)他

■持続可能な成長を実現する

- 埼玉版スーパー・シティプロジェクトの推進(一部新規):1億4,282.1万円
※プロジェクトに取り組む市町村への助成(新規)他
- 国直轄事業と連携した骨太の道づくり:47億4,447万円
- ミッシングリンク(幹線道路の未整備部分)の解消:35億2,844.5万円
- 橋りょうの計画的な点検・修繕・更新及び耐震補強:144億3,175.2万円
- 市街地の強靱化のための無電柱化の推進:37億3,022.3万円
- 空き家対策の促進(一部新規):2,277.8万円
※空き家等対策促進事業／中古住宅流通・住み替え促進事業／専門家を活用する「空き家コーディネーター」を配置(新規)
- 河川・砂防施設の管理徹底、強化:95億7,820.4万円
- Next川の再生の推進(一部新規):7億291.7万円
※水辺deカーボンニュートラルの推進(新規)他
- 埼玉ブランド農産物推進事業(一部新規):739.6万円
※県産農産物ブランド力強化事業(一部新規)他
- 果樹産地育成事業(新規):1,600万円
- 水田フル活用支援事業(一部新規):2,744万円
※主穀作生産振興対策事業／麦・大豆等作付拡大支援事業(新規)他

埼玉県議会議員(大宮区)

No.021号 2021/春号

藤井たけし

県議会 レポート



**令和3年度当初予算が成立
史上最大の2兆1198億円**

新型コロナウイルス感染症は、命や健康への脅威のみならず、全世界に大きな混乱をもたらしています。人口減少社会における持続可能な発展と成長も大きな課題のひとつではありますが、喫緊の課題に的確に対応していく必要があります。

令和3年度予算は、これまで経験したことのない困難な状況を乗り越え、子どもから大人まで夢と希望に満ちた明るい未来を切り開くため、「安心・安全の強化」、「DXの推進と県経済の回復・成長」、「持続可能で豊かな未来への投資」を柱としています。

また、取組の拡充策として、休業や失業などで収入が減少した世帯への支援、高齢者入所施設の感染防止策、所得の低いひとり親世帯への給付金、時短店舗への協力金など、令和3年度の補正予算についても審議をいたしました。

貴重な税金が真に有効に活用されているか、万全な準備のうえ予算特別委員会にてしっかりと審議させていただきました。



藤井たけし[プロフィール]

埼玉県議会 福祉保健医療委員会
自然再生・循環社会対策特別委員会
新型コロナウイルス感染症対策特別委員会

経歴・資格 参議院議員元公設第一秘書

上田清司前埼玉県知事元事務所長、清水勇人さいたま市長元政務秘書、サラリーマン、法人代表などを経て埼玉県議会議員(2期目)、大宮南小学校・大宮南中学校元PTA会長、青少年育成会元役員、社会福祉協議会(大宮区)元理事、明日のさいたまを創る会顧問、埼玉県認知症サポーター、さいたま市防災アドバイザー、国会議員政策担当秘書、防災士、2級ファイナンシャル・プランニング技能士

家族 妻、娘 好物 カレー、納豆、辛い物

好きなこと 読書、運動(サッカー、ラグビー)、現在はマラソンとグラウンドゴルフに挑戦中

**ケアラー・ヤングケアラー支援へ
初めての予算化1億8800万円**

介護・看護等を担う方々を支援するため昨年、議員立法で全国初の条例を制定しました。「ケアラー」という聞きなれない言葉を用いたのは、単に「介護者等」とした場合、高齢者介護のみを連想しがちなため、専門家のご意見を参考に、ケアラーとしました。ケアラーは、人のお世話をする方々を広く定義しています。

啓発のための「ケアラー月間」の創設、居場所づくり、相談員等の人材育成、ハンドブック作成、ケアラー入院時等の要介護者受入れ施設の運営、医療的ケア児者への支援拡充、地域への支援対策、認知症の方やその家族に対する地域の支援拡大、理解促進のための出張授業の実施など、1億8800万円の予算が計上されました。

次年度は、県議団の政務調査会副会長を務めることとなりました。更なる激務が予想されますが、しっかりと皆さんのニーズを的確に捉えつつ、時代をリードして参りたいと存じます。



予算特別委員会にて

令和3年度当初予算のポイント

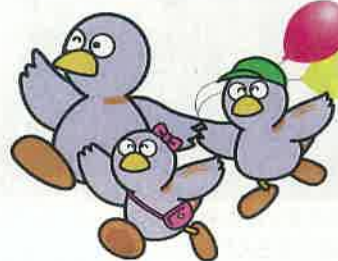
① 安心・安全の強化

- ① 感染拡大防止と医療提供体制の強化
- ② 危機や災害に強い埼玉の構築
- ③ 県民の暮らしを守る



② DXの推進と県経済の回復・成長

- ① デジタルトランスフォーメーション(DX)の推進
- ② 埼玉の稼げる力の向上
- ③ 魅力ある埼玉の発信



③ 持続可能で豊かな未来への投資

- ① 埼玉版SDGsの推進
- ② 誰もが活躍できる社会の実現
- ③ 未来を見据えた基盤づくり

**史上最大の
予算規模!**

◆一般会計 2兆1,198億4,300万円
(前年度比8.1%増)

◆全会計合計 3兆5,026億9,833万9千円
(前年度比1.5%増)

一般会計予算規模の推移(当初対比)

年度	26	27	28	29	30	元	2	3
予算額	17,299	18,290	18,805	18,644	18,658	18,885	19,603	21,198
伸び率	3.2	5.7	2.8	▲0.9	0.1	1.2	3.8	8.1

(単位: 億円、%)

将来を担う責任! 挑戦する勇氣!

特別委員会

チームで改革実行中! 「予算特別委員会」

予算特別委員会は、執行部が編成した次年度の予算(案)を審議するところで、例年2月から3月に集中して開催されます。2兆円を超える予算(案)の精査は膨大な作業であるため、チームで分業しチェックします。私は総務県民生活委員長を昨年度に務めましたので、総務部、県民生活部の所掌を中心に取り上げました。右記は藤井が取り扱った項目になります。



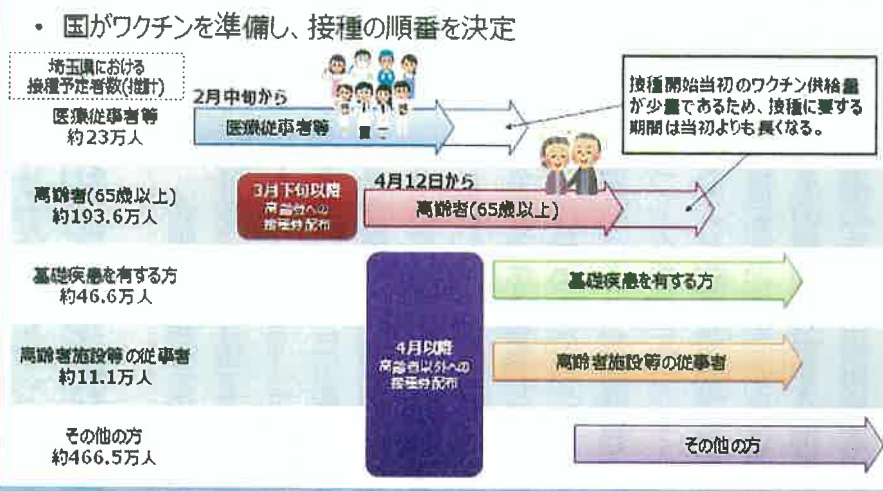
わかりやすい審議を心がけます

- 「終電までの残業が約10カ月?」職員の時間外勤務是正を
 - 「満足度約11%」老朽化した県庁舎再整備の検討と財政負担軽減策
 - 「収益がピークの3%」競争事業の在り方検討委員会は?
 - 就職氷河期時代を対象とした職員選考の更なる改善策
 - 「市町村連携」「DX」「無駄カット」など埼玉県の広報の在り方
 - 「防犯カメラの拡充」で防犯のまちづくりをもっと
 - 子たちの夢をはぐむリアルな職業体験
 - イベントも地元活用の視点を「地域経済循環と人材育成」
 - 見沼代用水「世界かんがい施設遺産」にふさわしい景観を
 - 国際バカロレア認定校の設置へ
 - 障害者雇用の推進と働く人の意欲に着目
 - 駅ホームドアの設置補助をさいたま市にも
 - 「保健所設置市との連携を」感染発生施設への支援(eMAT)
- また、「データに基づく事業執行」、「DX推進のロードマップの明示」など、6つの項目について、改善を促すべく議会から指摘・注文しました。

新型コロナワクチン接種体制に向けた取組



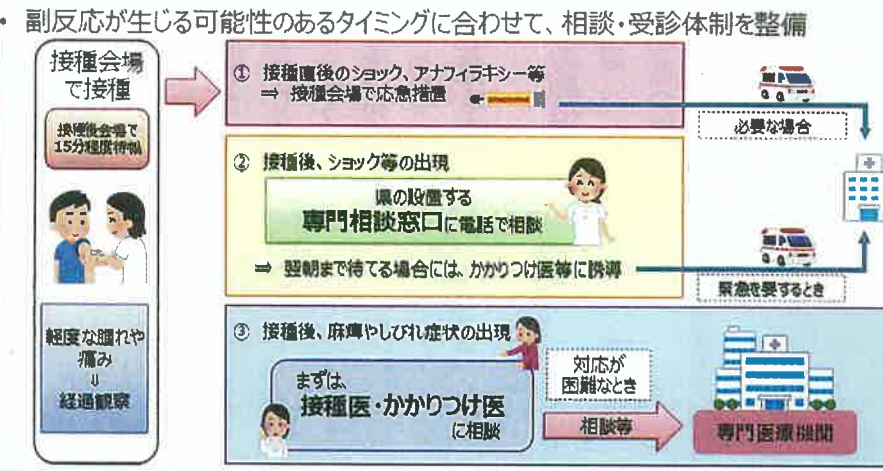
接種スケジュール



ワクチン確保や接種順位の決定は国、相談窓口設置や各種調整は県、会場の確保や接種券は市町村、と役割を分けて準備を進めています。未確定な部分が多い現状ですが、医療従事者等への優先接種については、5月中旬までに全員分が確保される見通しとなりました(3月末現在)。

副反応への不安の声もいただいておりますが、出来る体制づくりを現在進めていただいております。

副反応への対応



また、次年度は「新型コロナウイルス感染症対策特別委員会」に所属することになりました。未だ目標に届いていない重症患者受け入れ体制、ほかにも感染症対策や支援策がデータに基づく施策になっていないなど、多くの課題があります。

コロナの感染症分類における位置づけの議論も踏まえつつ、ウイズコロナ、アフターコロナを見据え、更に気を引き締めて取組んでいきたいと思っております。

Photo Report



看護師の方々と懇話会。コロナ対策など生の声をお届けいただきました。



新型コロナウイルスに関する勉強会。講師は医師で弁護士古川参議院議員。新型コロナウイルス感染症対策推進本部室長



世界かんがい施設遺産に相応しい景観を。見沼代用水土地改良区(久喜市)を視察



入札制度など建設業の課題改善策の提言



オンラインでの勉強会や意見交換も増えました



エシカル消費(倫理的消費)を研究



特別支援学校の教室不足は正についてPTA会長さんたちと打ち合わせ



交通事故の検証。今後の安全策について警察との打ち合わせ

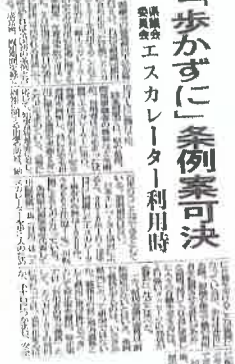
日本一地域の絆で結ばれたまち

「埼玉県エスカレーター利用の促進に関する条例」を策定

エスカレーターは、安全上、立ち止まった状態で利用するのが正しい使用方法となっています。しかし、片側を急いでいる人のために空けておくことが慣例となっています。

この慣例により、自分が転倒したり、人とぶつかって他人にケガをさせる事故が多く発生しています。また、ケガはなくても、怖い思いをしたり、喧嘩などのトラブルとなった事例も数多くあるようです。

慣例にはなっているものの、自身にも他人にも、やさしいとは言えないこの利用方法を変えていくため、立ち止まった利用を義務付ける条例を策定しました。テレビや新聞でも取り上げられ話題を呼びました。



「歩かずに」条例案可決
埼玉県エスカレーター利用時
埼玉新聞(3月9日付)ほか多く取り上げられました

- (条例化にあたり参考とした資料や事実)
- エスカレーターは歩行禁止
エスカレーターの安全基準は、立ち止まって利用することを前提としています
 - エスカレーターで事故が頻繁に発生
2年間の事故発生件数は1,550件
(一般社団法人日本エレベーター協会)
 - 歩行禁止で輸送効率の増大
ロンドン交通局の調査では、片側を空けるより両側に立って乗る方が、輸送能力が30%増大することが立証され、さらに安全に利用できることが分かりました。

将来を担う責任! 挑戦する勇氣!

埼玉県議会議員(大宮区)

No.022号 2021/冬号

藤井たけし

県議会 レポート



▲埼玉県議会コロナ対策特別委員会にて

第6波への備え、そして 日常生活や経済の両立を

新型コロナウイルス感染症の第5波は、8月中旬ごろをピークとして新規感染者数は過去最大となり医療現場や関係各所が逼迫しました。

現在は一定の落ち着きが見られ、このまま終息することをお願いしますが、次の第6波が到来したとしても、日常生活や経済活動が円滑に進められるよう、最悪の事態を想定した医療提供体制を整える必要があります。下記に示す様々な準備を進めています。

ワクチン活用と分断の回避

コロナ対策の決め手となっているワクチン接種は、完全に日本は出遅れました。しかしその後、世界トップクラスのスピードで接種を進め、対象者の8割弱まで接種が完了しました。12月からの接種3回目の準備も進めていただいております。と同時に、ワクチンを打てない方などが、分断されないような取組も必要です。議会で私は、差別防止にあらゆる機会を取り組むこと。そして、ワクチン検査パッケージについては、ワクチンを打っていない方に対する、差別を助長しない運用の必要性と検査費の無料化などを訴えてまいりました。

これまで、医療機関、事業者

などを含むお寄せいただきました様々なご意見は、県コロナ対策特別委員会を取り上げるとともに、政務調査会の副会長としてとりまとめ、県政への提案、国に対する意見(「国への意見書」は別掲)などで反映し、対策を推進してまいりました。

対策はもちろん充分とは言えません。感染症への医療の対応力、財政出動のあり方、デジタル対応の遅れ、災害等に備えた法の整備など、コロナは日本や地方行政が抱える多くの課題を浮き彫りにしました。課題は明確です。先送りすることなく、批判のための批判でもなく、しっかりと生かし実行力を伴って、改善されなければなりません。

藤井たけし[プロフィール]

埼玉県議会 福祉保健医療委員会
自然再生・循環社会対策特別委員会
新型コロナウイルス感染症対策特別委員会
5か年計画特別委員会

経歴・資格 参議院議員元公設第一秘書
上田清司前埼玉県知事元事務所長、清水勇人さいたま市長元政務秘書、サラリーマン、法人代表などを経て埼玉県議会議員(2期目)、大宮南小学校・大宮南中学校元PTA会長、青少年育成会元役員、社会福祉協議会(大宮区)元理事、明日のさいたまを創る会顧問、埼玉県認知症サポーター、さいたま市防災アドバイザー、国会議員政策担当秘書、防災士、2級ファイナンシャル・プランニング技能士

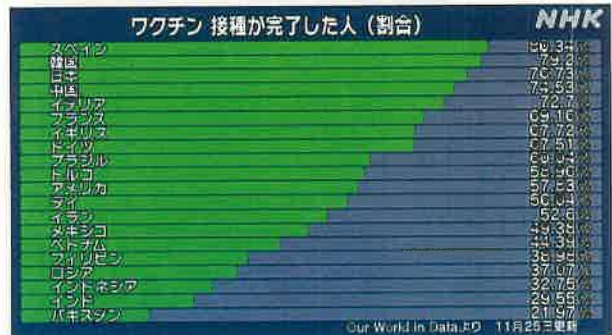
家族：妻、娘
好物：カレー、納豆、辛い物
好きなこと：読書、運動(サッカー、ラグビー)、現在はマラソンとグラウンドゴルフに挑戦



新型コロナウイルス感染症 第6波対策の主なもの

- 医療の備え**
 - 入院患者と宿泊療養施設の受け入れ体制を3割増
 - 飲み薬の年内実用化
 - 医療人材の確保と調整体制の構築
- 日常生活**
 - 無料PCR・抗原検査(ワクチン打てない人など)
 - 行動制限の関する新しい指標(感染者数より医療ひっ迫を重視)
- 予防**
 - ワクチン接種3回目(医療従事者からスタート)

出展：NHK(11月25日現在)



ワクチン接種に関する 差別等の防止について

ネットの活用も含め様々な啓発を進めていますが、藤井が要望した事例集の作成は埼玉県が全国初の取組

コロナ対策に関する埼玉県議会の意見書 (主な項目の要約・順不同)

- 国民・事業者に対する支援制度の充実
- 医療機関等への減収補填等
- ワクチンの供給体制の是正や効率化
- 検査体制の拡充
- デジタル・ガバメントの着実な推進
- エビデンスに基づいた施策展開のための調査分析等
- 影響を受けている子育て・少子化対策の強化
- 地方財政の充実・強化
- 医療体制の構築に向けた実効性を高める法整備



コロナ対策に関する国への意見書は、これまでに10件31項目



将来を担う責任！挑戦する勇氣！

日本一地域の絆で結ばれたまち

Photo Report



アートフルゆめまつり。東光寺にて



防犯のまちづくり推進議連の啓発活動にて



LGBTQに関する勉強会



青少年の素敵な作品の数々「MYポエムコンクール」主催者の皆さんと



エスカレーターに関する全国初の条例化。テレビ・新聞、多くのマスコミが報道



サッカーで街づくり。大宮アルディージャ VENTUSの選手さんたちと



氷川参道を楽しくお掃除



藤井の質問をきっかけに始まった取組が連載記事に(毎日新聞より)

「最小で最大の効果を」 厳しく注文

クラスター対策等のために、高齢者や障害者の入所施設職員に対するPCR検査が4月から実施されております。

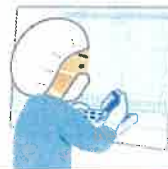
必要な検査ではありますが、藤井が詳細な調査をしたところ、その費用が最適とは言えない金額であったため、「最小の費用で最大の効果を上げる」よう、「厳しく注文」しました。

県にはこの注文を重く受け止めていただき、その後、事業者が変更され、9,900円だった単価は、最大3,058円まで引き下げられることとなりました。検査の質が落ちるようなこともありません。

この単価引き下げによって、生み出される財源は約24億円です。必要なほかの施策に充てられることとなります。

「厳しく注文」には、議会の強い意志を

24億円の削減効果！



示す「付帯決議」という手法を用いました。採決によって各議員の賛否も取りません。この「付帯決議」に、公明党さんは賛同してくれましたが、立憲民主党、共産党、無所属の議員さんは、「節減により生じた財源はほかに振り分けることはできない」などの理由により反対されました。まったく理解できるものではなく、残念としか言いようがありません。ところが後日、とある共産党議員さんが近寄ってきて、「反対して悪かったけど、効果すごかったね。たいしたものですよ」と褒めていただきました(苦笑)。

検査費用改善(PCR検査の単価)

Table with 2 columns: Before, After. Rows: 高齢者施設 (9,900円 to 3,058円), 障害者施設 (9,900円 to 4,290円)

藤井が指摘した主なもの

県の答弁や改善後の対応

県内で衛生検査所の登録がある11者のみを選定の対象としているようだが、視野を広げて選定すべき。

11者以外も選定の対象に拡大する。

検査方法には、個別法とプール法があり、県は個別法を重要視しているようだが、他の自治体が採用しているプール法の質が劣っているわけではない。プール法も検討対象とするべき。

プール法も参考にしていきたい。(この点に関しては、改善後の契約も個別法となりました)

見積は1者との答弁があった。緊急を要するため随意契約であることは理解できるが、見積は2者以上から取ることを地方自治地法が原則としているはずだ。

見積書を複数聴取し、なるべく効率的な予算執行ができるようにする。(5者から見積書を聴取し委託者を決定)



芝川にてカヤックも使って川の中と周りの掃除を行いました。トラックに積みきれないほどのゴミの山となりました。



将来を担う責任！挑戦する勇氣！

「リバサポ」はじめました!



実行委員長として挨拶

地域の川をみんなで楽しく綺麗にしたい!という思いで、リバーサポーター、略して「リバサポ」を立ち上げました。

ゆくゆくは親子でも参加してもらい、環境改善のみならず、環境学習、水の楽しさ、そして地域の絆や郷土愛なども育める事業にしたいと考えています。

特に橋の下には、投げ込まれた自転車などの大物がたくさんありましたが、参加した皆さんと充実感を共有しました。今後も継続してまいります。

また、こうした取り組みが県内各地に広がるよう「自然再生・循環社会対策特別委員会」の副委員長として、水質改善の可視化など、議会でも取り上げました。



埼玉県議会議員(大宮区)

No.023号 2022/新春号

藤井たけし

県議会 レポート



日本一地域の絆で結ばれたまち



自然再生・循環社会対策特別委員会 委員長報告

藤井たけし[プロフィール]

埼玉県議会 福祉保健医療委員会
自然再生・循環社会対策特別委員会
新型コロナウイルス感染症対策特別委員会
5か年計画特別委員会

経歴・資格 参議院議員元公設第一秘書

上田清司前埼玉県知事元事務所長、清水勇人さいたま市長元政務秘書、サラリーマン、法人代表などを経て埼玉県議会議員(2期目)、大宮南小学校・大宮南中学校元PTA会長、青少年育成会元役員、社会福祉協議会(大宮区)元理事、明日のさいたまを創る会顧問、埼玉県認知症サポーター、さいたま市防災アドバイザー、国会議員政策担当秘書、防災士、2級ファイナンシャル・プランニング技能士

家族：妻、娘
好物：カレー、納豆、辛い物
好きなこと：読書、運動(サッカー、ラグビー)、現在はマラソンとグラウンドゴルフに挑戦中



皆様におかれましては、新年を穏やかに迎えのこととお慶び申し上げます。日頃は藤井健志の諸活動にあたたかいご理解とご協力を賜り衷心より御礼申し上げます。

9月定例会から議論がはじまった県の最上位計画である「埼玉県5か年計画」は、一部修正のうえ、12月定例会にて全会一致で可決されました。

施策として不足するもの、新たな取り組みや施策指標を明確にするべきものなどが見受けられ、特別委員会ではされた意見は450項目にわたりました。

これらを自民党政務調査会の3名(藤井は副会長)で、「より県民のために」、「より県民目線で」との信念のもと、すべて一つひとつ丁寧に精査・評価し、自民党案として、67項目にわたる修正等を加えさせていただきます。

このほか、県議会12月定例会は、新型コロナウイルスの感染再拡大に対応する医療提供体制の確保計画、PCR無料など、コロナに対応する施策について活発に議論し、44議案を可決しました。「声をしっかりと」、「思いをかたちに」これからも全力で取り組んでまいります。

今後とも、変わらぬご指導ご鞭撻を願ひ申し上げます。

動物の飼い主や取扱事業者の責務をより明確に位置づけるため、「埼玉県動物の愛護および管理に関する条例」の一部を修正しました。「小さいのちを大切にしたい。」この思いをともにする多くの方々や丁寧に議論を積み上げてつくれた条例です。

「動物愛護条例を一部改正」

「より県民のために」「より県民目線で」 埼玉県5か年計画が可決

12月定例会補正予算(約383億円)



- コロナ後を見据えた社会経済活動の支援(事業再構築、DX、観光キャンペーン等)
- 介護・障害者施設におけるコロナ対策の継続(看護師派遣による体制確保等)
- 「ワクチン・検査パッケージ」等のため必要な無料のPCR検査・抗原定性検査
- 緊急小口資金等の特例貸付の延長

とくとく埼玉! 観光応援キャンペーン

県内で宿泊の方(県民限定)へ飲食店等で利用できる3,000円分のクーポン券をプレゼント(3月まで延長)
TEL:0570-666-723
詳しくは公式ホームページから



新型コロナウイルス感染症対策 ワクチンの接種について



■ワクチンの追加接種(3回目接種)

対象者	接種間隔
医療従事者や高齢者施設入所者等	間隔6か月以上
高齢者	間隔7か月以上

●原則として2回目接種から8か月以上経過(以下は例外)

●3回目接種のクーポン券の発送時期(さいたま市)

対象者	2回目接種完了時期	発送時期
高齢者	06/14~06/30	01/11
	07/01~07/07	01/18
	07/08~07/14	01/25

※接種間隔6か月以上の方々には昨年(令和3年)に発送済み

※2月以降、毎週火曜日に発送予定

●ワクチンの効果「70代では接種2回で、重症化は約1/20」

		50代	60代	70代
重症化率	未接種	1.77%	2.88%	3.74%
	2回済	0.24%	0.38%	0.18%
致死率	未接種	0.76%	1.92%	10.54%
	2回済	0.24%	0.38%	0.91%

藤井がコロナ対策特別委員会において求めたワクチンの効果に関する県内データが公表されました(12月8日現在)
※20代~40代の2回接種者は、死亡・重症化した方はおりませんでした。



※公職選挙法の規定により、年賀状を出すことが制限されています。ご理解くださいますようお願いいたします。

将来を担う責任！挑戦する勇氣！

令和3年度12月定例議会

「埼玉県五か年計画」を全会一致で可決

「埼玉県五か年計画」は、県が2022年度から2026年度までの5年間に取り組む最上位計画です。計画は「12の針路」と、この針路に沿って進める「54の分野別施策」、そして分野別施策を進めるための100程度の「主な取組」で編成されています。

9月定例会において、特別委員会（藤井含め18名）が設置され、20時間を超える審議をおこないました。

政調会副会長として、事前の調査や勉強会の設営、執行部とのすり合わせなど、数か月にわたり議会にこもりっぱなしでしたが、より良い計画が策定できたものと自負しているところです。議会からの修正

等は67項目にもなりましたが、他会派の県議や県職員さんからも高い評価をいただき苦勞の甲斐がありました。

すべての会派から賛同いただき全会一致で可決できました。



政調会での打ち合わせの様子



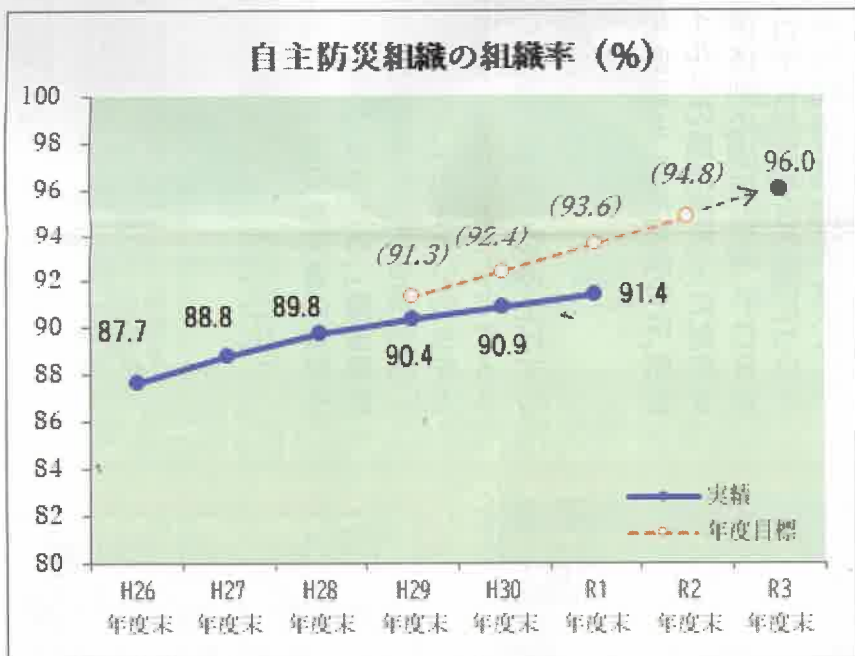
藤井が提起した施策など

藤井は委員会において50項目ほど提起させていただきました。すべては紹介できませんが、以下は主なものです。

○自主防災組織の活性化を図る指標化を

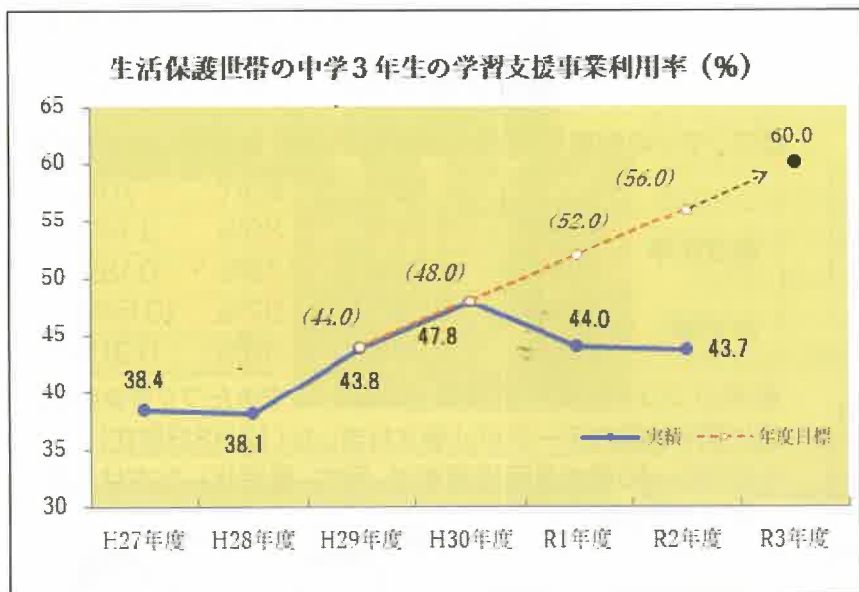
下記の指標に加えて「自主防災組織で防災知識の啓発活動を実施した割合」を追加

現状値：60.8%→目標値：90.0% (R8年度)



○生活保護世帯の学習支援事業使用率を指標化

現状値：43.7%→目標値：60.0% (令和8年度)



○ケアラー支援を担う福祉・教育部門の人材育成数を指標化

目標値：7,000人 (令和8年度までの累計)

○未来を創る子どもたちの育成にあたり、ジェンダー教育等の視点を追記

○不登校児童生徒が学校内外の機関等で相談指導を受けた割合を指標化

原状値：67.4%→目標値：85.0%

○危機管理・防災体制の再構築に資する

消防学校における消防職員の教育体制の強化

○大規模災害や近年みられる鉄道テロへの備えとして

鉄道事業者と連携した鉄道の安心・安全の確保

○障害ある方が保護者（親）亡き後も安心して生活しているよう追記

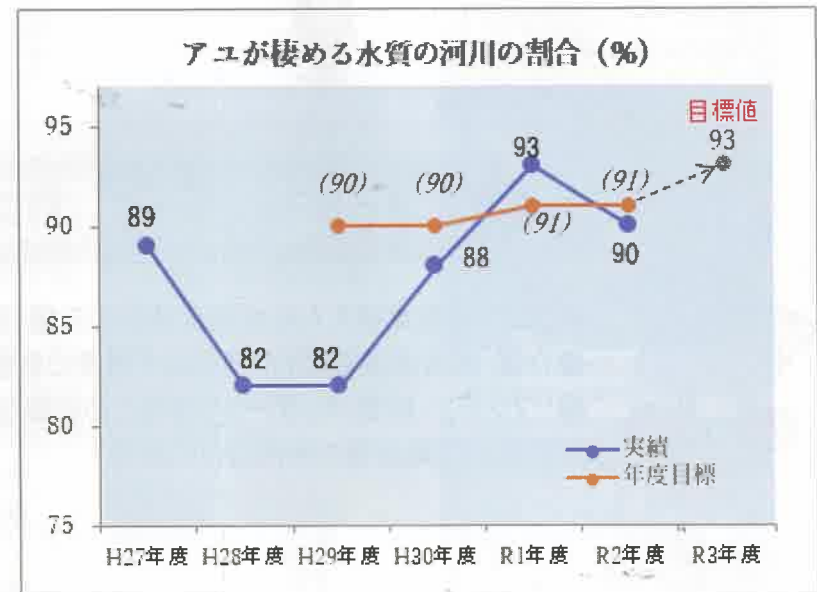
○主な取組に「観光施策の推進体制の充実・強化」を追記

○主な取組に「未利用県有地の有効活用の促進」を追記

○地域資源の活用に「アニメ」を追記

○河川の水質改善のため「環境基準 (BOD) を達成した河川の割合」を指標として追加

現状値：95%→目標値：100%



このほか、帰宅困難者対策、地域包括ケアシステムの深化、医師の確保、いじめ解消、鉄道の安全確保、シニア活躍の推進、デジタルデバイド解消なども提起し、最上位計画に位置づけて推進することが確認されました。



積みあがった資料の山



政調三役でヒヤリング

将来を担う責任！挑戦する勇氣！

動物愛護条例の改正で取り組み強化を

「埼玉県動物の愛護及び管理に関する条例」に基づき県動物愛護管理推進計画では、殺処分数ゼロを目標として、以下の取組を重点的に行っています。しかし、全体的には減少傾向にあるものの、令和2年度では犬猫殺処分数675頭と増加となっております。

- ① 飼い主からの引き取りを減らす 【安易な引き取りの抑制】
- ② 飼い主のもとにお返しする 【迷子動物返還の推進】
- ③ 新しい飼い主に譲り渡す 【譲渡活動の推進】

今回、自民党県議団が取りまとめ、議員発議により、条例を改正し取組を強化することとしました。右が改正のポイントです。殺処分数の削減のため、飼い主の適正な飼養、取扱事業者の適正化をさらに進めてまいります。

なお、地方自治体の取組や条例ではカバーしきれない法整備などで国が対応をするべき課題もたくさんあります。虐待保護、ペット保険の加入促進、資格の創設など、7項目にわたり国に対して意見書を提出いたしました。

- 飼い主になろうとする者の責務
飼う前の知識習得や 終生飼養
- 動物取扱業者の適正化
知識習得や情報発信の主体的取組を新たに規定
- 県の責務に連携規定を追加
市町村や関係団体等との連携（警察含む）
推進員の活動を新設し県への情報提供を促進



「引きこもり支援条例」の策定に向けてパブリックコメント(県民意見)を募集中



「引きこもり状態」にある人は、15歳から39歳までで54.1万人、40歳から64歳までで61.3万人と推計されています(内閣府調査)。本人や家族は、将来や様々な不安を抱えています。しかし、支援を受けることのできる場所がなく孤立しているケースが多いのが現状です。また、不安につけ込んで、強引に自宅などから引き出して高額な費用を請求する「引き出し屋」と呼ばれる悪質業者も存在しており、各地でトラブルが確認されています。

本人の意思を十分に尊重した支援が必要で、本人や家族が孤立することのないよう、安心して支援を受けることができる環境を整備していくことが不可欠です。条例案は、目的や支援団体等

の定義、基本理念、県や支援団体等の責務などを定めるため、8条で構成されております。

詳しくは「自由民主党埼玉県支部連合会」のホームページからご確認ください。

募集期間: 1月24日まで

▼下記で検索または右のQRコードから

自由民主党埼玉県支部連合会



これまでに取り組んだ主な「議員政策提案条例」



- 令和3年 エスカレーターの安全な利用の促進に関する条例
- 2年 迷惑行為防止条例の一部を改正する条例 (盗撮等の防止)
- 2年 受動喫煙防止条例
- 2年 ケアラー支援条例
- 元年 被保護者等住所・生活サービス提供事業の適正化等に関する条例
- 平成31年 特殊詐欺撲滅条例



読売新聞の県内10大ニュースに、なんとエスカレーターの条例が第2位に選ばれました!

さいたま市が知的障害の特別支援学校を初開設

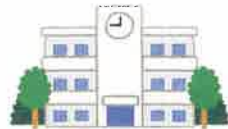
特別支援学校は、教室不足により厳しい過密にあります。音楽室や作業室などの特別教室を転用したり、普通教室を間仕切りして複数の学級で使用している教室は200を超えます。特に知的障害が不足しております。県に学校整備を再三強く求めました。その結果、県は新設や増設を推進しているものの、整備が追いつかず過密解消の見通しが立ちません。

藤井が全国の状況を調査したところ、さいたま市と同等規模の政令市はすべて市立の知的障害特別支援学校を設置していることがわかりました。

令和2年11月、藤井と特別支援学校のPTA会長と今後の取組について打ち合わせ。すぐに渋谷よしとか市議会議長(当時)とも面会し、支援をお約束いただきました。さらに翌月12月には、藤井が県議会一般質問でこの問題を取り上げるとともに、自民党市議団と

も意見交換会を重ね市立設置への理解をいただきました。その後、市議会の各会派から、市に対して知的障害特別支援学校の設置を求める声が沸き起こりました。

今回の市に設置による定員は、各学年8人の24名とまだまだ少ないものの、大きな一歩だと考えています。ご協力いただきました、市議会や県議会、市と県の職員さん、先生や保護者の方々に感謝申し上げます。今後も共に協力して取り組んでいきたいと思ひます。



毎日新聞(2021年12月17日付)



障害のある方の活躍する場の拡大を

県教育局は、ここ数年で障害者雇用を進めてきました。意義ある取組ではありますが、急激に雇用を増やしたことで適切とは言えない運営の状況が、県事務集約オフィスで働く当事者から藤井にご相談をいただき判明しました。



○ 接客の請求書を窓口を中央にまとめて設置することで、業務の流れと書類の動きが一致するようにし、作業動線を改変した。

真の共生社会への取組は、「行政が模範を示すべき」です。議会で直接、教育長に是正を求めたところ、指摘した事項についてすべて改善した旨、報告をいただきました。

1. 障害ある職員への適切な対応
 - 不適切な言動等の再発防止、理解促進の研修実施、障害ある職員からの意見等の共有
2. 障害の程度や本人の意欲等に応じた業務の構築
 - 意欲や希望に応じて業務を構築する仕組みに変更
3. 執務環境の整備
 - 休養スペースの拡大、障害者に配慮したレイアウトに変更など

「フードドライブおよび子ども食堂事業の協力に関する合同協定締結式」



フードドライブで子ども食堂と郵便局をマッチングをお手伝い。フードロス削減も!

フードドライブとは、家庭などで余っている食べ物を持ち寄って寄付する活動です。

子ども食堂と郵便局の強力タッグが実現しました。県内58の郵便局にフードドライブポストが設置され、そこに提供していただいた食材を、地域の子ども食堂に供給する取組です。

このマッチングをお手伝いしたところ、恐縮にも来賓としてお招きいただきました。

子どもの健やかな育成はもちろん、フードロス削減、地域の絆の広がりなど、有意義な取組に頭が下がります。

この取組が、他の地域に波及するモデルケースとなることを心から期待しています。



「フードロス解消に一役」と 新聞報道

photo report



危険な通学路を視察。すぐに対策を講じてもらいました



県五か年計画特別委員会。全会一致で可決



牧島かれんデジタル大臣を講師に勉強会。テーマは「デジタルトランスフォーメーションの今後」



武蔵一宮氷川神社の大湯祭(だいたうさい)



大宮公園の「埼玉WABISABI大祭典」大宮に活気が戻ってきました



お招きいただきました山車修繕完成お披露目会



LGBTQに関する勉強会。レインボーさいたまの会の皆さんと



公園の清掃活動。こころもすっきりします



すみやかな災害対策を!市民医療センターを視察。そして市長に要望書を提出。百村院長と

日本一地域の絆で結ばれたまち

将来を担う責任! 挑戦する勇気!



圏央道4車線化へ

2022年度から、久喜白岡JCT~大栗JCT間の順次共用が開始されます。企業立地の促進、観光など広域的な交流の促進が期待できます。さらに、災害時の連携や渋滞解消による環境改善にもつながります。「圏央道建設・沿線地域整備促進埼玉県議会議員連盟」で安全対策も含め意見交換を行いました。



自民党県議団ニュース

埼玉県議会自由民主党議員団



県民ニーズを的確に捉え、県政をリードする自民党県議団!



所属議員：長峰宏芳 小谷野五雄 小島信昭 齊藤正明 宮崎栄治郎 本木 茂 田村琢実 高橋政雄 神尾高善 諸井真英 木下高志 中屋敷慎一 梅沢佳一 新井一徳 須賀敬史 武内政文 齊藤邦明 小川真一郎 白土幸仁 岡地 優 荒木裕介 新井 豪 立石泰広 小久保憲一 日下部伸三 永瀬秀樹 細田善則 岡田静佳 内沼博史 横川雅也 飯塚俊彦 浅井 明 宇田川幸夫 松澤 正 吉良英敏 美田宗亮 藤井健志 木下博信 関根信明 宮崎吾一 高木功介 松井 弘 渡辺 大 千葉達也 山口京子 逢澤圭一郎 高橋稔裕 阿左美健司 杉田しげみ(以上49名)



団長ご挨拶

埼玉県議会自由民主党議員団

団長 小島 信昭

謹賀新年

皆様にかかれましては、健康やかに新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。平素は、埼玉県議会自由民主党議員団の活動にご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨年、新型コロナウイルス対策に奔走した一年でありました。本県に於いても新型コロナウイルス感染者が一月二日に確認され、以後感染症対策に追われ、県議会に於いても、補正予算を令和三年度だけでも十三度審議すること、県民のコロナ禍に於ける生活の安心に繋げて参りました。また、コロナ対策に於ける県の執行体制の検証等を

行方「新型コロナウイルス感染症対策特別委員会」では、県民の安全・安心に繋がる意見・提言を行うことで、現在の県のコロナ感染症対応に活かされているものと自負しております。

この他にも、県議団にて取り組んだ主な施策についてご紹介致します。昨年二月定例会に於いて自民党県議団にて提出・可決された「埼玉県エスカレーター」の安全な利用の促進に関する条例」が十月に施行されました。この条例は、エスカレーターの安全な利用を確保し、もって県民が安心して暮らすことのできる社会の実現に寄与すること

今後、時代の変化に対応できる政策に取り組むこと、県民の側に立った県政運営を行って参ります。県民の皆様が自民党県議団への更なるご支援とご協力をお願い申し上げます。

また、昨年十二月定例会では、「埼玉県動物の愛護及び管理に関する条例の一部を改正する条例」を自民党県議団にて提案し、成立致しました。犬・猫の殺処分ゼロに向けた取り組みや、動物取扱業者の更なる適正化、県の責務として市町村や動物関係団体等と連携すること等を明記し、本県の動物の愛護及び管理に関する取り組み全体を強化するものです。

『埼玉県エスカレーターの安全な利用の促進に関する条例』が施行されました!

「埼玉県エスカレーターの安全な利用の促進に関する条例」が、令和三年二月定例会にて自民党県議団の提案により上程され、賛成多数で可決成立致しました。

この条例は、エスカレーターの安全な利用の促進に関し、県、県民及び関係事業者の責務を明らかにするとともに、エスカレーターの利用及び管理に必要事項を定めることにより、エスカレーターの安全な利用を確保し、もって県民が安心して暮らすことのできる社会の実現に寄与することを目的としています。

この条例では、利用者の義務として「立ち止まらないう!!」と義務規定を設けました。罰則規定はありませんが、今後の利用状況を鑑み改正を検討することを附則に盛り込んでいます。

県民の皆様のご協力をお願い致します。

全国初!! 条例化
埼玉県から始めよう

エスカレーターでは
立ち止まらないう!!
義務化

埼玉県エスカレーターの
安全な利用の促進に関する条例

令和3年10月1日から施行

お問い合わせ先
埼玉県農民生活部消費生活課
埼玉県 さいたま市大宮区大宮1-1-1
TEL: 048-830-2935 FAX: 048-830-4750

県民の皆様のご協力をお願い致します。

健全な動物共生社会を目指し!

『埼玉県動物の愛護及び管理に関する条例』改正条例を自民県議団が提案・成立!

埼玉県動物の愛護及び管理に関する条例は、県民の動物愛護の精神の高揚を図り、動物の健康及びその安全を保持するとともに、動物による人の生命、身体及び財産に対する侵害を防止することを目的とした条例であります。本県では、この条例に基づき、動物の愛護及び管理に関する施策を実施してきたところで、今回、この条例を改正し、動物の愛護及び管理に関する取組全体を強化致します。

条例改正のポイントの1点目は、「犬・猫の殺処分数の削減」です。このため条例に「飼い主になろうとする者の責務」を新たに規定し、飼い主になる前に動物の習性などの知識習得に努め、自身の現在と将来にわたる生活環境などを考慮してその動物がその生命を終えるまで飼うことができるか、しっかりと考える責務を規定しました。また、適正に飼養できると認められる者に対する譲渡推進の姿勢をより強く示すため、県が譲渡できるとしている犬猫に、所有者不明で収容した犬猫などを明記いたします。2点目は、動物取扱業者の更なる適正化です。「動物の愛護及び管理に関する法律」が改正され、令和3年6月1日から動物取扱業者に関する遵守基準が具体化されたところであり、本県としても動物取扱業者の更なる適正化に取り組みが必要があります。今回の条例改正では、「動物取扱業者の責務」を新たに規定し、遵守基準を始めとする法令順守は基本として、最新の動物の知識の習得と情報の発信を主体的に取り組み責務を規定しました。また、県の責務に連携規定を追加して、市町村や動物関係団体等と連携することや、動物愛護推進員の活動を新設して、県に対して情報提供をしてもらうことなどにより、本県の動物の愛護及び管理に関する取組全体を強化するものとして、います。



条例改正案を検討する政務調査会の様子



本条例により、犬猫の殺処分数の削減や動物取扱業者の適正化、更には動物の愛護及び管理に関する取組全体の強化が図られるものと考えております。

「政策大綱」を提言・提案!

自民県議団が令和四年度予算編成に関する「政策大綱」「市町村要望」を県知事に提出!



大野知事に政策大綱を提言する自民県議団役員

自民県議団政調会が取りまとめた「令和四年度政策大綱(合計384項目)」及び「令和四年度埼玉県予算等に対する要望(市町村要望195項目・議員要望46項目)」を大野知事に提出し、令和四年度の埼玉県予算並びに施策の編成に反映するよう申し入れを行いました。

令和四年度の予算については、引き続きコロナ対策、ポストコロナをにらんだDXをはじめとする新しい生活様式、更には経済の再生に向けた対策や災害に強い県土づくり等が不可欠であり、対応した予算を求めました。知事からは、予算編成に際しては各部署に周知を図り、ポストコロナに向けた検討をさせて頂きたいと前向きな返答がありました。

建設業関連の課題検討PT



建設業関連の課題検討プロジェクト・チームでの審議の様子

自民県議団では、県内建設業関連の課題を把握し、改善に努める為に「建設業関連の課題検討プロジェクト・チーム」を設置し、取り組みを行っています。

この度、県内の建設事業者に対して行ったアンケートの結果、発注者の県と受注者たる事業者の関係において、一方的で対等とは言えない現状が判明しました。また、最低制限価格の引き上げや発注の平準化などのご意見を賜りました。

このアンケート調査の結果を施策に反映するために、大野知事に対し改善を求めた要望を行いました。大野知事からは、契約書の順守の徹底を図ると回答がありました。また、更なる平準化とともに、最低制限価格の引き上げが実施されました。



声をチカラに。思いをカタチに。
 埼玉県議会議員 **藤井たけし**

埼玉県議会自由民主党議員団 県政調査事務所
 住所：埼玉県さいたま市大宮区浅間町2-78 パストラハイム105
 電話：048-788-1924
 FAX：048-788-1928
 ホームページ <http://www.fujii-takeshi.com/>

細田よしのり

埼玉県議会議員（戸田市選出）

戸田を、
埼玉を、
日本を変える！

1983年3月18日戸田市生まれ育ち
新曾小・中、日大豊山高、日本
大学卒、オハイオ州ケント州立
大学院修了、国会議員公設秘書
を経て県議会議員2期目
企画財政委員長としてコロナ対
策含む2兆円を超える埼玉県の
予算の適正な執行管理を担う。
2015年に細田が提案した戸田か
けはし特別支援学校がついに開
校。水道水をおいしくする浄水
場改修案もこれから実現へ



県政報告 ■ アルカンシエル ■ 2021年 ■ Vol. 24 発行: 埼玉県議会議員 自由民主党議員団 細田よしのり
WEB <http://hosodayoshinori.jp> mail <mailto:hosodayoshinori.sakura.ne.jp>

まん延防止の延長で、先が見通せないよ。埼玉県もなんとかして!!

細田は、企画財政委員長としてまん延防止措置を受け飲食店様への協力金等410億円の補正予算を審議し可決しました。しかし、金額や支給基準、ワクチンの遅れなどの改善を図るよう指示しました。

飲食店の皆様へ営業時間短縮要請に伴う

「埼玉県感染防止対策協力金」の支給 **389億円**

飲食店の皆様へ、昨年から度重なる要請へのご協力に厚く御礼申し上げますとともに、協力金申請審査、入金が遅れや多くの協力金の対象外の業種の皆様へ県に代わって深くお詫びいたします。



アクリル板の設置等感染防止対策を実施する県内飲食店等に対する支援

2.5億円

高齢者・障害者入所施設の職員さんに対するPCR検査の追加実施

1.5億円



財政委員長報告

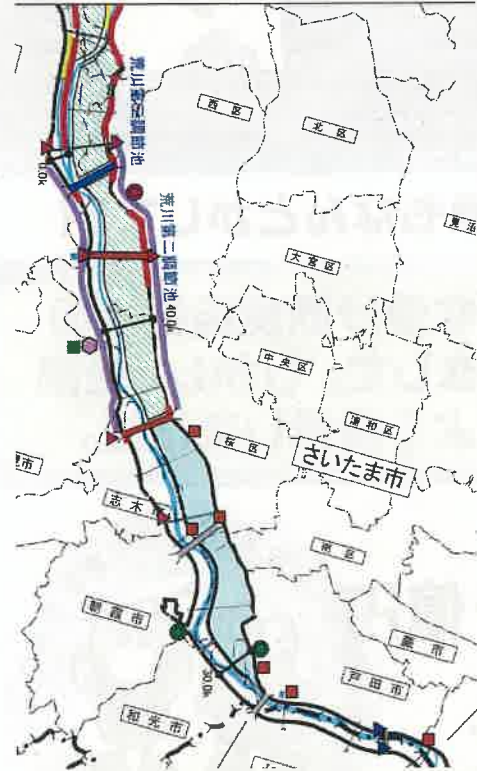


令和3年当初予算 細田が深く関わった事業を抜粋

荒川の氾濫を防ぐ計画を総理へ直接要望し前進!

細田は、これまで埼玉県及び国は昭和22年に起きたカスリーン台風の教訓を受けて、どちらかといえば利根川水系を優先して整備、予算配分がされてきたと感じています。

しかし、令和元年台風19号では記録的な降雨が荒川水系を襲い、**戸田市を含む荒川流域に甚大な被害**が発生いたしました。細田は官邸にて総理と面会があった際の質疑応答で「東京への被害を考えても、いわゆる彩湖(荒川第一調節池)に隣接する**第二・第三調節池の完成前倒しと更なる整備**を検討してください!」と要望を含む発言をいたしました。



その後、荒川水系河川整備計画【大臣管理区間】(令和2年9月変更)で、「洪水調節施設については、上流部では二瀬ダム、浦山ダム、滝沢ダムの3ダムが完成しており、中流部では、荒川第一調節池(平成16年完成)の整備が完了していますが、洪水調節容量が不足しており、現在**荒川第二・三調節池の整備を進めるとともに荒川第四調節池について検討を実施**しています。」(一部省略)と明確に記載されました。

一部新規 流域治水対策の加速化
112億75万円(13か月:280億3,950万円)

流域全体で、氾濫をできるだけ防ぐ、減らす対策を推進
(調節池の整備や河道の拡幅など)



子どもたちに
安全な埼玉県を

警察官の不足をシステムで補おう!

埼玉県の人口に対して国が定める警察官定員が少なく、国へは増枠を強く要望しています。それが獲得できるまでの間は県独自の努力をしていかなければなりません。煩雑な書類業務の効率化、捜査管理システムなど新技術を導入し約40人分の効果を生み出すことができました。

新規 警察業務の効率化による警察力の強化
2億9,473万円



捜査管理システムの構築やAI-OCR、RPAなどの導入で、警察官約40人分の増員効果を実現

すこしづつ、でも着実に県を変えています。

細田が提案 ケアラー条例により事業化

一部新規 児童虐待防止対策の強化

9億859万円

◆児童相談所の整備

熊谷児童相談所及び一時保護所を一体整備



令和5年度開所予定

県南西部地域に児童相談所及び一時保護所を新設

令和7年度開所予定

◆児童虐待相談の対応強化

SNSを活用し、どこからでも相談できる相談窓口を開設

新規 ケアラーやヤングケアラーへの支援

9,323万円

◆普及啓発及び地域や学校での支援

- ・「ケアラー月間」創設と支援フォーラム開催
- ・認知症の人と家族を支える「チームオレンジ」構築支援
- ・ケアラー入院時等の要介護者受入施設の運営
- ・理解促進のための出張授業、オンラインサロン



ICT整備の国際的遅れを取り戻せ!

一部新規 教育の情報化の推進

6億4,232万円

1人1台端末環境におけるICTの効果的な活用の支援

- ・ICT支援員の配置
- ・著作物利用の円滑化
- ・ICT環境整備及び活用の推進



根本的なビジネスモデルの変革を!

一部新規 デジタル化によるビジネスモデルの転換支援

2億8,795万円

◆中小企業のデジタル化の取組支援

- ・商工会議所連合会、商工会連合会へDX推進員を設置
- ・DX推進セミナーの実施、ICT活用コーディネーターによる個別支援

◆デジタルテクノロジーの活用・実証支援

- ・AI・IoT・ロボットシステム導入の先進事例創出・発信
- ・デジタル技術を活用した製品の開発・実証支援



細田よしのり日々動静

1日	県議会一般質問
2日	県議会一般質問
3日	人間市選挙応援
4日	地域団体打ち合わせ
5日	県議会一般質問
6日	県議会一般質問
7日	知事へ要望活動
8日	県議会常任委員会
9日	新型コロナ特別委員会
10日	議会改革検討会準備
11日	人間市長選挙激励
12日	県議会特別委員会
13日	議案調査
14日	県議会閉会日
15日	新型コロナ会議
16日	党打ち合わせ
17日	パークゴルフ大会
19日	次回議会意見書検討
20日	市内意見聴取
21日	議会改革検討会準備
23日	SDGsシンポジウム
24日	拉致国民大会
26日	青年局会議
27日	議会改革検討会準備
28日	議会改革検討会準備
31日	日本青年会議所会議

1日	埼玉県防災訓練
2日	議員連盟打ち合わせWEB
4日	企画財政委員会打ち合わせ
6日	第二子誕生
7日	特別支援学校説明会
8日	戸田市レク大会
9日	青年局会議リモート
12日	議員連盟打ち合わせ
13日	自民党青年局研修リモート
16日	議員連盟靖国神社参拝
17日	議会改革検討会
18日	シリア大使来庁歓迎
19日	議会改革検討会
20日	正副委員長会議
22日	ドライブインシアター手伝い
23日	ドライブインシアター手伝い
24日	県庁計画調整課打ち合わせリモート
25日	県庁スポーツ振興課打ち合わせリモート
26日	JCIとだわらび会議リモート
27日	団務調査会
30日	県議会閉会日

1日	議案調査日
2日	議運、本会議
3日	議案調査日
4日	議運、一般質問
7日	一般質問
8日	一般質問
9日	一般質問
10日	議運、一般質問
11日	牧島かれん青年局長打ち合わせ
13日	ボーイスカウト2団総会
14日	企画財政委員会
15日	新型コロナ特別委員会
16日	地方創生特別委員会
17日	議会運営委員会打ち合わせ
18日	県議会閉会日
21日	地域意見聴取
22日	JCIとだわらび会議リモート
25日	戸田ロータリー子ども食堂

市内行事が無くなり議員として皆様の意見を直接対面で伺う機会の有り難さを感じています

代わりに、メール、電話リモート会議ツールでいつでもご連絡ください!

細田よしのりが最近の県議会で注力、実行したテーマは？

全国初、エスカレーターの安全利用条例を提案策定

新しい安全習慣を

細田は、便利なエスカレーターを誰もが安全に利用するための新しい習慣を提案いたします。

戦後エスカレーターが設置されはじめると、歩く人のため関東は右あけ、関西は左あけという慣習が定着してきました。しかし、障がいや怪我などの事情により片側の手すりしか掴まれない方や子供や高齢者の付き添いなど安全性、エスカレーター製造会社が立ち止まって利用することを前提に設計していること、輸送力が増えることなど調査し見直すべきと考え議員提案により条例化に踏み切りました。

議員提案条例 17本目

いまでは当たり前の自動車のシートベルトやバイクのヘルメット着用も過去には不要とされていました。

議員の役割として条例を議員提案で策定することは、過去の先例にとられない新しい価値の再定義という面もあると思います。お急ぎの電車に乗り遅れそうな時など不便もあるかと思いますが、全員の安全のためにご理解いただければ幸いです。

立ち止まって乗ろう! エスカレーター
Don't walk on the escalator.



立ち止まって利用しましょう

エスカレーター上での歩行は他の利用者との接触や転倒・転落事故につながる恐れがあります。

手すりにつかまりましょう

エスカレーターは緊急停止することがあります。手すりにつかまり、転倒・転落事故を防ぎましょう。

*エスカレーターの完全基準はステップ(黄色い線の内側)上に立ち止まって利用することを前提としています。



九都県市首脳会議

(埼玉県 千葉県 東京都 神奈川県 横浜市 川崎市 千葉県 さいたま市 相模原市)



議会運営副委員長に任された
意見書取りまとめで思う存分
細田カラーをぶっ込みました。

細田が意見書原案を執筆

わいせつ行為により教員免許が失効等した者の採用に関する制度の厳格化を求める意見書

子育て支援及び少子化対策に関する予算の充実及び関連施策の強化を求める意見書

不妊治療への保険適用の拡大等を求める意見書

性犯罪に関する刑法の規定等の更なる見直しを求める意見書

別居・離婚後の親子の断絶を防止する法整備等を求める意見書

意見書全文は⇒



コロナ禍で
式典出られず

ご入学、ご卒業、節目を迎えた皆様に
謹んでお祝い申し上げます!

細田よしのり
県政調査事務所

mail@hosodayoshinori.sakura.ne.jp

県政へのご意見をお寄せ下さい!

〒335-0027 戸田市氷川町 1-14-17

TEL: 080-6511-0080 FAX: 048-611-7110



細田よしのり

埼玉県議会議員（戸田市選出）

戸田を、 埼玉を、 日本を変える！

1983年3月18日戸田市生まれ育ち
新曾小・中、日大豊山高、日本
大学卒、オハイオ州ケント州立
大学院修了、公募で県議2期目
企画財政委員長としてコロナ対
策含む2兆円を超える埼玉県の
予算の適正な執行管理を担う。
2015年に細田が提案した戸田か
けはし特別支援学校がついに開
校。水道水をおいしくする浄水
場改修の提案もこれから実現へ
議会改革検討会でも積極的発言



県政報告 ■ アルカンシエル ■ 2021年 ■ Vol.25 発行：埼玉県議会議員 自由民主党議員団 細田よしのり
WEB <http://hosodayoshinori.jp> mail@hosodayoshinori.sakura.ne.jp

痛ましい子供を巻き込む交通事故はもう無くして欲しい。

戸田市は物流倉庫が多く、大型自動車が生活道路に流入することも
細田は本会議で警察本部長に規制を含め対策の強化を提言しました。
財政委員長として措置に伴う補正予算計2兆3878億円を可決しました

細田 住宅を中心とする生活道路は歩行者の数も多く幅員も狭いため、
大型車が入り込むとオーバーハング、内輪差、死角など
で事故が起きる可能性が高く、事故が起こればおのずと
被害も大きくなります。歩行者等が優先されるべき生活
道路において、大型自動車の流入を抑制すべき！（抜粋）



警察本部長 議員御指摘の生活道路における大型自動車の流入抑制に関
しては、児童・幼児の通学路、住宅地等にある歩車道の区分のない道路が、
大型自動車等の通行に十分な幅員がない場合等において、大型自動車等
の通行止めの交通規制を実施している事例もございます。今後とも、生活
道路の交通安全対策はもとより、交通の安全と円滑を確保する観点から、
適切な交通規制や、道路管理者と連携した安全対策を行ってまいります所存で
ございます。（抜粋）

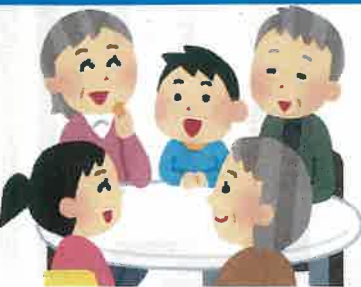
物流は生活に欠かせない
エッセンシャルワークです。
幹線道路・生活道路と互いに
共存するルール設定を



通学路は絶対守る。

人生の最後を考えるACPの前に価値観の整理を!

細田 ACP(アドバンス・ケア・プランニング)は、人生の最終段階において医療的ケアについて、本人と家族と医療ケアチームと話し合って決めていく取組です。しかし、今は医療的ケアを決める前の下準備、本人の価値観の整理という領域が不十分で、「もしバナゲーム」など補助教材・ツールなど活用しもっと丁寧に行うべき。



eスポーツが熱い!日本の得意分野が世界で急成長

eスポーツは主に対戦型ビデオゲームをスポーツ競技として競うもので、以前から海外を中心に人気を博していました。それがステイホームやユーチューブ等の動画配信ブームなどで更に追い風を受けております。総務省の調査でも市場規模が爆発的に増加していることが報告されておりまして、2018年に世界で1000億円程度だったものが、2021年には1750億円超と急成長しており、障がい者の皆様の活躍にも活用できると言われています。



この流れを県経済や福祉行政にも取り込むためには本県のeスポーツの取り組む姿勢を明確にし窓口をはっきりさせる必要があります。細田はeスポーツを受け持つ部署を明確に決めて取り組むことを提言!

細田の提言



障がいの有無に関わらず活躍の可能性を引き出す「eスポーツ」の魅力!

一問一答方式で、知事執行部を質す



未来の埼玉へ有効な投資を

とだわらび体操で体力づくりを



外出の機会が減り、運動不足は熱中症になりやすくなると言われています。←「とだわらび体操」でぜひ運動を!



とだわらび体操

体操お手本:戸塚寛子(テレビ体操出演者)
南山龍斗(日本体育大学体操部)
体操考案:鈴木大輔 作曲:尾立優

全国選抜小学生プログラミング大会に戸田市の小野颯也くんが入賞の快挙!

全国新聞社事業協議会が主催するプログラミング大会にて小野颯也くん(新曾北)が戸田市の特色を生かした「とだめぐり」という作品で入賞されました。私はテック人材育成を政策の柱に据えており有望な小野くんインタビューを申し込みました。そのプログラムはここから見れます。



GIGAスクールの学校貸与パソコンとマイPCを使いこなし、手早い操作で作品のコードを拝見しましたが、私が大学生時代にかじったプログラミングをはるかに超えるハイレベルなものでした。いまではプログラミング教室にも通い、小学校では講師役も務めているとのこと、これからの活躍を県教育行政からもサポートしていこうと思います。



子供たちが学校のなかでも社会課題の解決に取り組む習慣を!

細田の提言

これからの教育は文系・理系を分けず融合させてテック人材を育てていくべきと提言



細田の提言で埼玉県のパソコン等の学校持込み方針が明らかに進んだ!

細田は、令和元年9月県議会で大きな方向転換を提案しました。ICT先進国では、学校貸与パソコンに加え自己所有のデバイスを持ち込み、当然セキュリティを高めつつ使い慣れた環境で仕事や学業に打ち込むことが当たり前です。そんなことができていないことの改善を県議会で初めて指摘しました。それを受け、県は翌年から越谷南高で実証研究を行い、今年度には埼玉県内の学校全体向け「BYODガイドライン」(埼玉県立総合教育センター発行)を示すなど、明らかに持ち込み推進に舵を切りました。



4月

1日	臨時議会
2日	党本部青年局リモート会議
4日	町会役員会
8日	商工会青年部
9日	秩父補欠選挙
10日	福祉施設見学
13日	メディア議連打ち合わせ
14日	文化団体訪問
15日	青年会議所会議
16日	正副委員長会議
19日	臨時議会
20日	吉見町選挙
21日	戸田支部監査
22日	市内相談
23日	常任委員会
25日	町会役員会
26日	市内団体総会
27日	メディア議連打ち合わせ
29日	青年局オンライン研修会
30日	青年局オンライン研修会

5月

2日	県内団体オンライン総会
3日	文化団体訪問
6日	青年会議所会議
8日	県内団体オンラインミーティング
9日	市内団体総会
10日	議会運営委員会
11日	臨時議会 まん延防止延長
13日	自民党戸田支部打ち合わせ
14日	戸田かけはし特別支援学校見学
16日	事務所書類整理
17日	ワクチン研修会、団会議
18日	和光市長選挙応援
19日	市内団体総会
20日	青年会議所会議
21日	一般質問原稿準備
22日	商工会青年部
23日	市内相談
24日	動物愛護団体打ち合わせ
25日	商工会総代会
26日	一般質問原稿準備
27日	一般質問原稿準備
28日	議会運営委員会
30日	一般質問原稿準備
31日	臨時議会 まん延防止延長

6月

2日	県内団体オンライン総会
3日	文化団体訪問
6日	青年会議所会議
8日	県内団体オンラインミーティング
9日	市内団体総会
10日	議会運営委員会
11日	臨時議会 まん延防止延長
13日	自民党戸田支部打ち合わせ
14日	戸田かけはし特別支援学校見学
16日	事務所書類整理
17日	ワクチン研修会、団会議
18日	和光市長選挙応援
19日	市内団体総会
20日	青年会議所会議
21日	一般質問原稿準備
22日	商工会青年部
23日	市内相談
24日	動物愛護団体打ち合わせ
25日	商工会総代会
26日	一般質問原稿準備
27日	一般質問原稿準備
28日	議会運営委員会
30日	一般質問原稿準備
31日	臨時議会 まん延防止延長

国が措置、宣言を延長すると、その都度予算を編成するために臨時議会を行っています。

重症化率など総合的、論理的な分析と政策決定を国に求めて参ります。

細田よしのりが最近の県議会で注力、実行したテーマは？

夫婦別姓を選択できる制度へ 議論を尽くし改正を

通称使用の拡大では解決にならず

前提として、細田自身は妻と話し合いの中で夫婦同姓を選びました。しかし、県民の皆様の中にはパートナーとの姓に対する価値観、仕事の継続性や煩雑な変更手続きなどさまざまな理由で結婚しても別姓を選択したいという方もおられます。国の法律に基づく事項のため、県議会として今後早急に議論を進めるよう国に意見書を提出することを提案し可決しました。



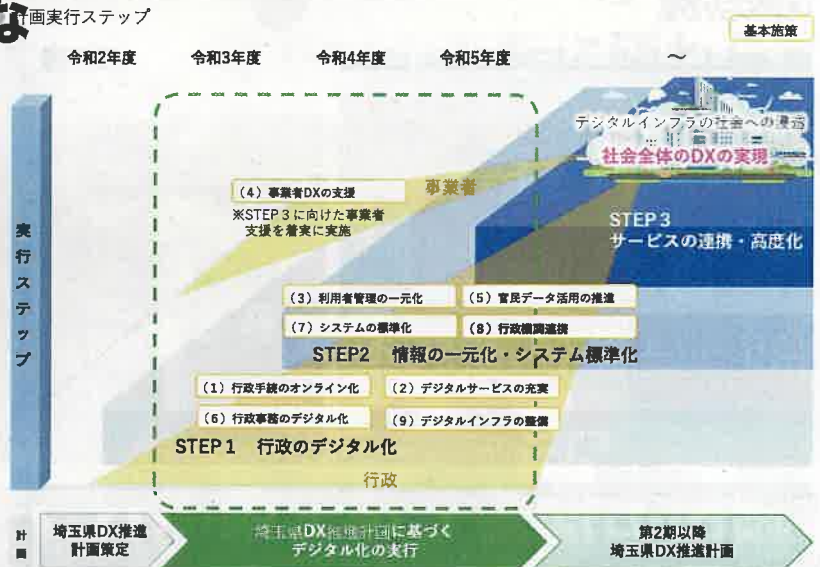
県のDXを進めるためにデジタル庁に人事派遣を！

細田 6月4日、デジタル庁の組織体制案が公開され、民間から幹部職員の募集が始まりました。今後、自治体のバラバラだったシステムを統廃合すると言われており、本県として早急にDX(デジタルトランスフォーメーション、デジタルによるモデル変革)人材を育成していく必要があり、是が非でも出向させるべきです。

県はデジタル化に乗り遅れるな

知事 新型コロナウイルス感染症の感染者数やワクチン接種の状況、また、デジタル庁における地方自治体職員の受入れ態勢を踏まえながら、派遣時期については、総合的、しかしながら前向きに検討したいと考えております。(抜粋)

未来の人財育成へは躊躇なく投資を！



戸田かけはし高等特別支援学校開校

2015年の細田当選初めての本会議での質問で、特別支援学校の教室不足の解消のため、障がいの有無に関わらずともに学ぶことができるインクルーシブ教育の場として、戸田翔陽高校内に新たな学校を設置すべきだ!という提言が受け入れられやっと結実しました。ご協力いただいたすべての皆様に心から感謝申し上げます。

議会も更に
変えていく

細田が検討会で発言し、オンライン委員会、ペーパーレス、一問一答が導入されました

細田よしのり
県政調査事務所
mail@hosodayoshinori.sakura.ne.jp

県政へのご意見をお寄せ下さい！
〒335-0027 戸田市氷川町 1-14-17
TEL: 080-6511-0080 FAX: 048-611-7110



38歳
2児の父

閉塞感を打ち破り、希望溢れる埼玉を創る

埼玉県議 細田よしのり

議員提案数ダントツ日本一

条例を創る議員宣言

県政報告 **アルカンシエル**

税金ムダを防ぐ財政委員長
42億のPCR費用を圧縮



The First Penguin

リスクを恐れず最初に荒波へ飛び込むペンギン
前例踏襲を止めて政治の停滞を打破します!

2021 Vol.26

WEB <http://hosodayoshinori.jp> mail hosodayoshinori.sakura.ne.jp



略歴 昭和58年3月18日戸田市生まれ育ち
戸田市立新曾小・中、日大豊山高、日本大学卒業後、渡米
オハイオ州立ケンツ州立大学院 Master of Technology修了
山東昭子参議院議員公設秘書、会社勤務を経て公募で県議2期
1期目に、戸田かけはし特別支援高等学校設置を提案、実現
2期目に、水道をおいしくする浄水場への高度処理導入を実現

埼玉県はコロナが起こる前から、しっかり新感染症対策してたの？

細田はコロナ発生前2019年4月の選挙時、県の感染症対策の脆弱さに着目し感染症病床の5年で150%増と明確に数値で改善目標を立てていました。それが間に合わなかったこと忸怩たる思いです。



- 数字で示す5年後の埼玉県
- 私は、常に5年後、15年後、30年後を意識して行動しています。県の5年計画を策定した経験から導き出した、「埼玉県の行先を示すコンパス」政策で埼玉を変えていきます!
 - 世代を支える社会保障 次世代への施策が最重点!
 - 合計特別出生率 1.36 → 再増出率 1.8
 - 教育関係特別費 1,258人 → 0人
 - 全区を上回る学力向上率 0教科 → 5教科
 - 特別支援学校の一般就労率 83.2% → 95%
 - こども医療費を戸田市・県市外でも立派なしの無償化へ
 - 住やすさ圧倒的No.1埼玉 「ディスプレイもへっちゃら」
 - 長寿短命生卒 (LIFE) 人口の 10%削減
 - 環境緑の賃電延長・ホームドア設備
 - PM2.5年平均 12.5μg/m³ → 10μg/m³以下
 - アユが爆める川 82% → 95%
 - 健康可能な大層の歩道数 0頭 → 0頭
 - 広い農業歩道 1351km → 1500km
 - 信頼される政治・行政へ 埼玉から変えていく!
 - 議員提案数 29件 → 政策立案カブ
 - 障がい者雇率 2.5%、教育費 2.4%を早期達成
 - 議員の意識発露 12人 → 0人
 - 県庁の電子決断化を行い、改ざん防止や検閲業務向上
 - ペーパーレス化で紙ゴミ削減 337トン → 半減

頻発する災害・テロ・感染症から大切な生命・財産、埼玉を守る!

- ▲ 県有施設の耐震化率 94.7% → 100%
- ▲ 多くの人が使う民間施設の耐震化率 91.7% → 100%
- 体育館等避難所施設にエアコン設置を
- ▲ 水の備蓄 685万人分 → 全県民分の730万人
- ▲ 感染症病床 (危険性が高く特別な対応が必要な感染症) 64床 → 100床
- ▲ 消防団員の充足率 90.8% → 100% (多様な枠組みの整備)



政策パンフレット
細田よしのりの目指す埼玉
2019年4月発行

県の役割として、感染症対策があります。しかし、コロナ禍以前は優先順位が高いとはいえない状態でした。

細田は、埼玉の目指すべき政策目標を「数値」で示すことにこだわっており、2019年4月選挙時にも感染症対策を明記しました。当時は戦後の結核などが収束していることから埼玉県の感染症病床は「64」と減少しつつありました。これでは不十分であると5年で150%の増床を目指すと言っていた矢先にこれほどの病が流行してしまい、忸怩たる思いです。これから対策の更なる強化加速を急いで参ります。



細田よしのりが最近の県議会で注力、実行したテーマは？

細田の提言から！信号が無い交差点の停止率が倍増

横断歩道は止まるを習慣に！まだまだ全国35位

細田が2019年に、道路交通法38条で歩行者優先が罰則付きの違反になっているにもかかわらず、積極的に取り締まりもされず、交通安全啓蒙でもほとんど扱われていないことを本会議で指摘し、取り組みの強化を提案しました。

それを受けて、県は歩行者優先を重点項目に追加し、新たな県独自キャンペーン「KEEP38」や、ルール徹底を促す動画の作成などを実施しました。今年の8月のJAFの調査で、埼玉県は停止率23%に上昇しました。習慣化までもう一步（細田の指摘時はたったの7%）

「横断歩道は手をあげよう！」 懐かしい標語も復活しました

国としても、43年ぶりに教則改正で歩行者の心得として「手を上げるなどして運転者に横断の意思を明確に伝える」ことを復活させました。

お互い思いやり意思疎通で安全を創り出しましょう！

政策提言から成果までの流れ

2019年9月本会議
細田よしのりが歩行者優先の取り組み強化提言する。

2020年11月
県は、KEEP38キャンペーンを開始、啓発動画も配信

2021年11月4日読売新聞
「一時停止する車倍増23%
横断歩道県警呼びかけ成果」



細田が全国初提案可決！ケアラー支援全国へ広がる



細田が団政務調査副会長のときにまとめ、全国初で提案・可決させたケアラー条例が呼び水となって全国の自治体で（家族等の介護などされている方）ケアラー・ヤングケアラーへの支援が広がっています。

けっこう快挙？

議員提案条例から 流行語大賞にも ノミネートされる



YouTube動画
元ヤングケアラー
のインタビュー
ぜひご覧ください



まだ油断はできませんが、経済・文化活動も再開 ▲花壇への植え替え

行政へのご意見、ご要望は

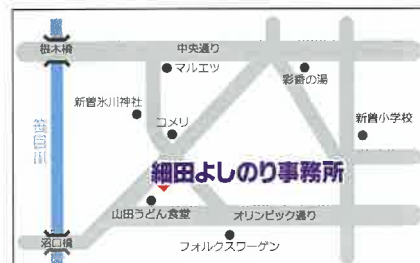
細田よしのり県政調査事務所

〒335 0027 戸田市氷川町1-14-17

TEL: 080-6511-0080 FAX: 048-611-7110

mail@hosodayoshinori.sakura.ne.jp

発行 埼玉県議会 自由民主党議員団



38歳
2児の父

閉塞感を打ち破り、希望溢れる埼玉を創る

埼玉県議 細田よしのり

議員提案数ダントツ日本一

条例を創る議員宣言

県政報告 アルカンシエル

税金ムダを防ぐ財政委員長

42億のPCR費用を圧縮



The First Penguin

リスクを恐れず最初に荒波へ飛び込むペンギン
前例踏襲を止めて政治の停滞を打破します!

2022 Vol.27

WEB <http://hosodayoshinori.jp> mail@hosodayoshinori.sakura.ne.jp

略歴 昭和58年3月18日戸田市生まれ育ち
戸田市立新曽小・中、日大豊山高、日本大学卒業後、渡米
オハイオ州立ケンツ州立大学院 Master of Technology修了
山東昭子参議院議員公設秘書、会社勤務を経て公募で県議2期
1期目に、戸田かけはし特別支援高等学校設置を提案、実現
2期目に、水道をおいしくする浄水場への高度処理導入を実現



埼玉の動物愛護は殺処分ゼロを目標にしてるってニュースで見たよ

こどもの頃から動物好きで犬猫ほかハムや鶏と暮らしてきました。
議員になってからも殺処分減少にむけ発言してきましたが、12月
議会で「県愛護条例の改正」を議員提案で提出し成立させました。

埼玉県では平成10年に愛護条例が制定され、改正が重ねられてきま
したが、今般の法律改正、県計画で殺処分ゼロ目標を掲げたことに対応す
ため条例改正案をあたためてきました。現行条例の足りない部分、例えば

- ・飼い主になろうとする人の責務新設(事前に知識を十分習得すること等)
- ・動物取扱業者の責務新設(ペットショップ・ブリーダー等)
- ・災害時に必要な準備を講ずること(同行避難)
- ・県の譲渡ができる動物の範囲を拡大すること
- ・県が市町村、関係団体と連携すること
- ・愛護推進員さんと綿密な情報共有連携すること

そこから悪徳業者への立ち入り検査等の実施などにも結びつきます。
最後に大事なのが、それらの取り組みに財政的に措置。
ちゃんと予算をつけること!を明記しました。

条例によって来年予算での 新たな県動物施策に期待大!



2021年12月15日埼玉新聞

ペット「同行避難」明記

自民 県議団 改正動物愛護条例案

県議団は、改正動物愛護条例案(小規模宿泊施設は、日、ペ
ットを飼育している住民に正しい飼育方法や知識を周
知し、関係業者の責務を定める)動物愛護条例
改正案(議会中の目録例)を提出した。今年12月15
日行われた臨時議会で、改正案が全会一致で採
決された。

「主観者がそれが必要な周知を図っていかねば、同行
避難を認めようとした。県例には明記されていなかっ
た。条例を改正する市町村は、
とへの対応は、い、動物
愛護推進員(市町村)は、「
を連れて避難する(同行避難) 動物などで強い思いを受け取

家の物置で産まれていた子猫が
はじめての飼育経験(名前モモタ)

細田よしのりが最近の県議会で注力、実行したテーマは？

携わった提案条例は19本目、政策に強い議員たれ

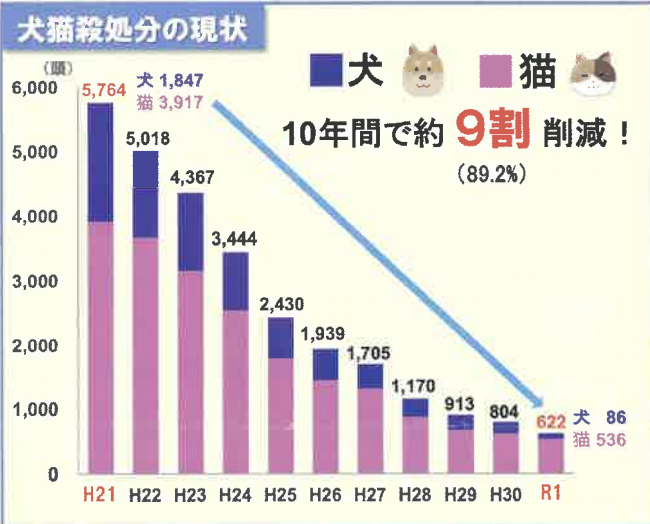
知事提出案は県職員が議員に説明し質問に答えますが、**議員提案議案は提出議員が内容を説明し質問に答えます**

地方議会の課題として言われてきたのが、議員個人の政策力です。かつての議会は、知事・市長が提出する議案に対して、議論して賛否を判断して議決することがほとんどの仕事で、めったに議員側から政策条例議案を提出することはありませんでした。

細田は過去のような受け身の議員ではなく、自ら課題を抽出して条例案文を創り、議会に提出する積極的な議員でありたいと、これまでも多くの議案を提出してきました。

動物愛護条例では提案者として一条一条の改正の意義と根拠をまとめ、他の議員からの質問に答え納得していただきました。

殺処分数は、この10年で激減。あと一歩でゼロへ
多頭飼育崩壊してしまう団体など新たな問題もあり、あとひと推しを



もちろんコロナ対策も緩めずに!

財政委員長としてオミクロン、6波へ備える予算可決

「ワクチン・検査パッケージ」等のため必要な無料のPCR検査・抗原定性検査の実施

- 健康上の理由等によりワクチン接種を受けられない方の検査を無料化 76億7250万円
- 感染拡大傾向時の感染不安等を理由に受検を希望する方の検査を無料化 210億250万円
- 検査事業者の体制整備への助成及びコールセンターの運営等 11億6591万5千円

行政へのご意見、ご要望は

細田よしのり県政調査事務所

〒335 0027 戸田市氷川町 1-14-17

TEL: 080-6511-0080 FAX: 048-611-7110

mail@hosodayoshinori.sakura.ne.jp

発行 埼玉県議会 自由民主党議員団



39歳
2児の父

閉塞感を打ち破り、希望溢れる埼玉を創る

細田よしのり

埼玉県議

議員提案数ダントツ日本一

条例を創る議員宣言

県政報告 アルカンシエル

税金ムダを防ぐ財政委員長

42億のPCR費用を圧縮



The First Penguin

リスクを恐れず最初に荒波へ飛び込むペンギン
前例踏襲を止めて政治の停滞を打破します！

2022 Vol.28

WEB <http://hosodayoshinori.jp> mail hosodayoshinori.sakura.ne.jp

略歴 昭和58年3月18日戸田市生まれ育ち
戸田市立新曽小・中、日大豊山高、日本大学卒業後、渡米
オハイオ州立セント州立大学院 Master of Technology修了
山東昭子参議院議員公設秘書、会社勤務を経て公募で県議2期
1期目に、戸田かけはし特別支援高等学校設置を提案、実現
2期目に、水道をおいしくする浄水場への高度処理導入を実現



コロナ3年目、経済がボロボロだよ。県は意味ないことやらないで。

その声は、県民・県内中小企業の厳しい実情として突き付けました。
効果が無いムダな事業はスクラップを！根拠に基づく政策立案EBPM
を5年前から提唱してきましたが、ついに全体方針に取り入れられました。

新年度予算案について審議
県議会予算特別委員会始まる



自民 細田善則委員 新年度一般会計当初予算案編成方針について
「県税収入が思いのほか良かったとの説明だが
県民や県内中小企業経営者の肌感覚と一致しないのでは」
「実際はコロナに対応する国の協力金や助成金等で
何とか倒産を免れている企業が多い認識」

令和4年度の予算審議で、細田が財政部に
県の収入支出や借金(債務、基金)について
委員会で最長の40分間質疑しました。

特に、「税金がそこまで落ちない見込み」とい
う県に認識については、「それは私の聞いている
肌感覚と全く違う！ 実際はコロナへの国の
協力金、雇用調整助成金など下支えで何と
か倒産を免れている企業が多い！」と厳しく
指摘しました。

それを踏まえて、県のこれまで継続で行って
きた事業を「根拠に基づく政策立案EBPM」
の観点で改めて必要性を検討し、廃止を前提
に総点検するよういたしました。

これは細田が平成29年から提案しつづけ
てきたことで、やっと県全体に浸透しました。

テレビ埼玉 NEWS 5 4 5 が
YouTube でアップされています。
携帯のカメラで右のQRコードを
読み込むとご覧いただけます。



細田よしのりが最近の県議会で注力、実行したテーマは？

議員提案で、社会との接点を取り戻す支援条例を可決

引きこもりの状態とは、6ヶ月以上社会参加が途絶えること

細田が提案者となって成立させたのが、引きこもりの状態にある方、家族への支援を規定した条例です。ひきこもるきっかけ、それは本人の問題ではなく、社会との関わり方が多くの原因です。それをだれにも相談～解決できないことを解消すべきですが全く理解しようとせず無理やり「力」で解消しようとするいわゆる「引き出し屋」ビジネスが横行しています。



埼玉県ひきこもり相談サポートセンター
時間：毎週月・水～土曜日 10時～18時
相談方法 電話：048-971-5613
E-mail：center@k-largo.org
来所（原則として、電話・メールで予約をおとりください） 運営団体：越谷らるご様

本人の意志を無視し、金銭で無理やり外に出す「引き出し屋」は不法行為と高裁強引な手法ではなく必要な支援体制を！

条例では、まずは本人の意志を尊重すること。そして県、市、支援団体が社会に関わるための支援を、それを本人家族が安心して受けられるよう、財政的措置を講じる（すぐ取り組むこと!）と明記しました。

ロシアへの抗議決議を提出！軍の即時撤収を求める！

ロシア軍によるウクライナへの侵攻は、力による一方的な現状変更を認めない国際秩序を揺るがし、断じて容認することはできません。軍の即時撤収を求める決議を可決しました。

（明白な侵攻があった4日後、2月28日付）

その後、梅澤県議会議長と駅前での募金活動を行いました。多くの募金にお礼申し上げます。



トダイルミの片付け

トダイルミのプロジェクトは、県議1期目から応援しています。公の補助に頼りっきりの地域活性は持続しません。

みんなから共感、賛同され、自然と協力が集まる活動へ。（3月5日）

行政へのご意見、ご要望は

細田よしのり県政調査事務所

〒335-0027 戸田市氷川町1-14-17

TEL: 080-6511-0080 FAX: 048-611-7110

mail@hosodayoshinori.sakura.ne.jp

発行 埼玉県議会

発行 自由民主党埼玉県支部



朝霞から埼玉県を**変**える!

埼玉県議会議員

松井ひろし

令和3年(2021年)春号 **県政報告**

発行 埼玉県議会自由民主党議員団

埼玉県議会議員 松井ひろし県政調査事務所



県議会2月定例会報告

令和3年度予算(一般会計)

2兆1,393億6,522万円

安心安全を強化し持続可能な社会を目指す

県議会2月定例会は、県政史上最大となる当初予算(一般会計:2兆1,198億4,300万円)および補正予算(一般会計:195億2,222万円)等を議決し、3月26日に閉会しました。

新型コロナウイルス感染症対策としては、ワクチン接種体制の整備や病床確保のための医療機関への補助(約1,000億3,542万円)をはじめ、介護・障害者福祉サービス等への支援や飲食店等への支援などが盛り込まれています。

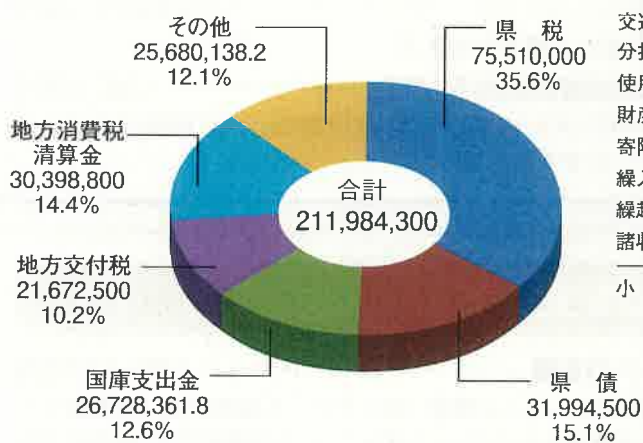
約444億円の令和2年度2月補正予算も計上

2月定例会では、13か月予算により切れ目なく事業を継続させるため、444億2,360万6千円の令和2年度2月補正予算を、これは急務を要するとして3月2日に議決しました。これにより、インフラ整備が年度で途切れず実施され、特に流域治水対策事業については3年度予算と補正予算合わせて280億3,950万円となり、調節池の整備や河道拡張などの治水対策が加速化して進められることになりました。

一方、歳入は県税収入が減少する厳しい状況となっておりますが、国庫支出金をはじめ臨時財政対策債や基金の切り崩し等で補うかたちとなっております。

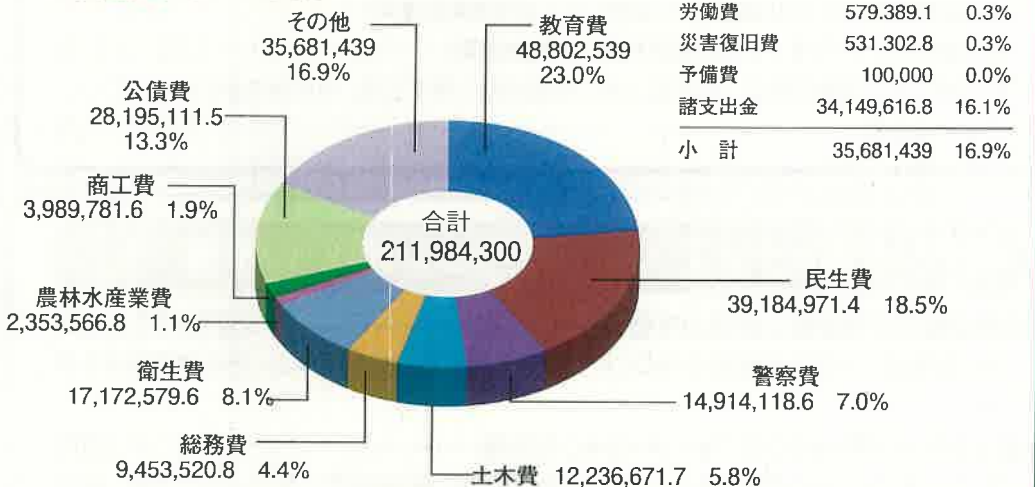
令和3年度埼玉県当初予算(一般会計)

●歳入(単位=万円)



項目	金額(万円)	割合
その他(内訳)		
地方譲与税	8,758,700	4.1%
地方特例交付金	574,800	0.3%
交通安全対策特別交付金	145,600	0.1%
分担金及び負担金	278,832.5	0.1%
使用料及び手数料	2,648,444.6	1.3%
財産収入	818,475.2	0.4%
寄附金	16,311.9	0.0%
繰入金	8,075,650.8	3.8%
繰越金	50,000	0.0%
諸収入	4,313,323.2	2.0%
小計	25,680,138.2	12.1%

●歳出(単位=万円)



項目	金額(万円)	割合
その他(内訳)		
議会費	321,130.3	0.2%
労働費	579,389.1	0.3%
災害復旧費	531,302.8	0.3%
予備費	100,000	0.0%
諸支出金	34,149,616.8	16.1%
小計	35,681,439	16.9%

全国初、エスカレーター安全条例を可決!

私たち自民党県議団が2月定例会で提案しました「埼玉県エスカレーターの安全な利用の促進に関する条例」が可決・成立しました。施行は周知期間を設け令和3年10月1日としました。



本条例は、エスカレーターを利用する者は立ち止まって利用することを義務と規定しています。また、エスカレーターを管理する事業者には周知徹底を、県にも啓発の推進などを求めています。

エスカレーターを歩くことは重大な事故につながりかねません。条例化で状況を少しずつ改善していきたいと考えています。

副反応等の専門相談窓口

新型コロナのワクチン接種は医療従事者から始まり、4月からは高齢者(65歳以上)、その後基礎疾患を有する方や高齢者施設等の従事者、その他の方々へと順次行われる予定です。(地元の市町村から接種券が配布され、費用は国が負担するため無料です。)

県は副反応等に係る専門相談窓口を開設しました。専門的な知識を有する看護師や医師などが24時間体制で相談に応じます。今後も県民の皆さまが安心して接種できる体制を整えてまいります。

■専門相談窓口: 0570-033-226(ナビダイヤル)
※土日祝含む24時間対応

※接種券に関することや接種の方法等については、地元の市町村の相談窓口にお問い合わせください。

令和3年度の主な新規事業を報告します

●新型コロナ感染症対策のさらなる強化

- 新**検査体制・医療提供体制を強化・確保……………997億37.1万円
●検査・医療提供体制の強化 ●軽症者療養体制の確保 ●クラスター対策 ●感染者のフォローアップ等
- 新**ワクチン接種体制の整備(専門相談窓口の設置等)……………3億3,504.4万円
- 新**新型コロナ感染拡大防止対策
●介護・障害者福祉サービス等への支援……………18億9,240.3万円
●飲食店等への支援(飲食店等が行う感染予防対策の費用を補助)……………4億2,000万円
●県立学校における感染防止(必要な教材器具等を整備)……………1億9,896.3万円
●警察活動における感染防止……………1億2,862.9万円

●既存資源を活用した観光基盤の構築

- 拡**渋沢栄一翁を軸とした観光振興……………2,365.8万円
●「埼玉三偉人検定」の実施 ●県内外における情報発信及び広域周遊の促進等
- 拡**民間事業者等と連携した広域観光を促進……………2,369.2万円
●アニメを生かした魅力の発信と周遊の促進 ●近隣都県等と連携したプロモーションの実施等
- 拡**eスポーツ等を活用した観光振興……………1,000万円
●Vtuberを活用した観光PRを実施等



●災害対策の重点取り組みと強化

- 新**流域治水対策を加速化……………112億75万円
●国の「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」に基づき、氾濫をできるだけ防ぐ、減らす対策を軸に調整池の整備や河道の拡幅などの治水対策を推進(2月補正予算との合計=280億3,950万円)等
- 拡**整備水準を超える洪水等への対応……………8億4,604.7万円
●避難に役立つ情報の積極的な配信 ●水害リスク情報の充実 ●排水機場の耐水化・耐震化(2月補正予算との合計=9億2,204.7万円)等
- 拡**災害に備えた医療体制を強化……………5,469.2万円
●災害医療の連携体制の充実 ●在宅難病患者の災害発生前における避難目的による一時入院体制を整備等
- 新**家畜伝染病の防疫体制を強化……………9,034.5万円
●家畜衛生情報共有システム構築等により、防疫措置に必要な各種情報を集約 ●家畜保健衛生所の機能強化等

●活力を高める社会基盤の整備

- 新**直轄事業と連携した骨太の道づくり……………43億5,287.1万円
●現在事業中の直轄国道につながる県管理道路や地域高規格道路13路線16カ所の整備を実施(2月補正予算との合計=67億5,087.1万円)
- 拡**ミッシングリンクを解消し道路網の多重化を構築……………40億9,147.7万円
●幹線道路の未整備部分(ミッシングリンク)の解消を目指す(2月補正予算との合計=51億9,918.5万円)
- 拡**産業拠点を支えるインフラ整備……………22億8,792.6万円
●産業拠点へのアクセス道路等の整備を推進(2月補正予算との合計=34億6,792.6万円)

●未来を拓く次世代を育成

- 拡**教育の情報化を推進……………6億4,232.2万円
●1人1台端末環境におけるICTの効果的な活用を支援(ICT支援員の配置等)
- 拡**自立と社会参加を目指す特別支援学校を整備……………29億5,766.7万円
- 拡**県立高校トイレ改修加速化事業……………31億828.1万円
●普通教室棟のトイレの洋式化率100%を1年前倒し令和5年度完了を目指す。

●地域経済を支え活性化を目指す

- 拡**県内経済を支える中小企業を支援……………201億8,782.6万円
●BCP策定支援事業 ●プッシュ型事業承継集中支援事業 ●Withコロナ時代に対応した地場産業のチャレンジ支援事業 ●資金調達の円滑化支援(制度融資枠:6,500億円/セーフティネット系資金の融資要件を緩和)等
- 拡**県内企業の海外ビジネス展開を支援……………1億419.5万円
●中小企業海外販路開拓支援事業(越境eコマース活用を支援、海外ECサイトに県特設コーナーを開設)等
- 拡**農林業の生産基盤・販売力強化
●生産基盤の強化(高収益農業を実現するほ場整備実証事業)……………4,000万円
●農業の担い手育成(未来型農業教育環境整備事業)……………1,323.5万円
●持続可能な農業の確立(農業法人経営継続計画の策定支援、県産米競争力強化プロジェクトの推進等)……………3,934.1万円

●水とみどりを守り育む持続可能な未来へ

- 新**Next川の再生を推進……………11億1,507.7万円
●民間のアイデアやノウハウを生かした水辺空間の利活用を促進する
- 新**農業用水の水辺周辺を活用……………5億879.3万円
●農業用水路における環境配慮護岸、遊歩道の整備等
- 拡**プラスチックの循環利用や食品ロス削減の取り組みを推進……………1,397.6万円
●プラスチックの持続可能な利用モデルを促進(産官民が連携し、出口戦略を見据えた循環モデルの構築に向けコンソーシアムを結成)等

●デジタルトランスフォーメーション(DX)の推進

- 新**警察業務を効率化し警察力を強化……………2億9,473.3万円
●捜査管理システムの構築やAI-OCR、RPA等を導入し、警察官約40人分の増員効果を実現
- 拡**行政のデジタルトランスフォーメーションを推進……………8億7,012万円
●ペーパーレス化の推進 ●テレワーク環境の整備 ●Webデータベースの構築 ●DX計画実行事業等
- 新**業務効率化のためのデジタル基盤を整備……………12億5,609万円
●業務基幹システムの設計 ●次期県庁LANの設計と地域機関の無線LAN化等
- 新**i-Constructionを推進……………4億5,918万円
●県が管理する道路や河川を対象とした3D測量を実施し、3Dデータを活用した取り組みを推進する
- 拡**中小企業・小規模事業者のデジタル化を支援……………2億8,795.2万円
●DX推進員を設置 ●オンライン活用型ビジネスマッチングを支援 ●オンラインを活用した海外販路開拓を支援 ●サービス産業におけるDXの促進を支援等

●暮らしを守る安心安全への取り組み

- 拡**ケアラーやヤングケアラーへの支援……………1億8,817万円
●「ケアラー月間」の創設と支援フォーラムの開催 ●ケアラー入院時の要介護者受け入れ施設を運営 ●認知症の人と家族を支える「チームオレンジ」の構築を支援 ●市町村の基幹相談支援センターや地域生活支援拠点等の整備を促進 ●理解促進のための出張授業を実施等
- 拡**児童虐待防止対策を強化……………9億5,508.2万円
●児童虐待相談対応を強化(SNSを活用した相談窓口を開設) ●児童相談所・一時保護所の整備等
- 拡**生活困窮者や生活保護受給者等に対する支援……………4億4,257.4万円
●ICTと専門職の活用による自立支援促進事業 ●生活困窮者自立相談支援事業 ●住居確保給付金 ●学習支援事業 ●生活保護受給者チャレンジ支援事業 ●地域再犯防止推進事業等

事務所への訪問・相談も大歓迎!!

県政に対するご意見やご要望など、何かございましたらお気軽にご相談ください。
お電話、メール、FAX だけでなく、事務所での相談も随時させていただきますが、不在の場合が多いため、事前にご連絡を頂いてからご訪問下さるようお願いいたします。

埼玉県議会議員

松井ひろし県政調査事務所

〒351-0011 朝霞市本町 3-4-17 ☎048-483-4256

FAX 048-483-4257 ✉info@matsuihiroshi.com

ホームページ <http://www.matsuihiroshi.com/index.html>

朝霞から埼玉県を**変**える!

埼玉県議会議員

松井ひろし

令和3年(2021年)夏号 **県政報告**

発行 埼玉県議会自由民主党議員団
埼玉県議会議員 松井ひろし県政調査事務所



MATSUI HIROSHI

県議会6月定例会報告 補正予算【第6号・第7号】

約609億8,611万円 影響を受けた事業者支援を拡充

県議会6月定例会は6月14日から7月2日まで開催され、一般会計補正予算【第6号】121億498万6千円及び補正予算【第7号】488億8,112万1千円などを議決しました。

補正予算【第6号】の主な内容は、新型コロナまん延防止等重点措置などの影響を受けている事業者支援として、外出自粛等の影響を受けている事業者(表1)、酒類の提供自粛等の影響を受けている酒類販売事業者(表2)、宿泊事業者(表3)、地域公共交通事業者(表4)等への支援についての予算が計上されています。

補正予算【第7号】では、まん延防止等重点措置の7月11日までの延長を受け、感染防止対策協力金の支給期間延長をはじめ、生活困窮者への支援についての予算等が盛り込まれています。

今年度6回目の臨時議会を開催

補正予算【第8号】683億6,781円5千円

〈一般会計補正後累計額：2兆3,878億7,062万2千円〉

県議会は7月9日、まん延防止等重点措置の8月22日までの期間延長を受け臨時議会を開催し、補正予算【第8号】を議決しました。

その内訳は、感染防止対策協力金に558億1,497万7千円、月間売上げが70%以上減少している酒類販売事業者等に特別枠を設けるための予算(2億9,109万9千円/表2)、個別接種を行う医療機関への財政支援予算(120億797万3千円)等が計上されました。

表1

埼玉県外出自粛等関連事業者協力支援金事業 52億2,717万6千円

令和3年4～6月に実施されたまん延防止等重点措置等に伴う、飲食店の営業時間短縮や不要不急の外出自粛等の影響を受けた事業者に対して協力支援金を給付する。

【対象事業者】

- 月間売上げが前年又は前々年同期比で**50%以上減少**しており、国の月次支援金を受けている県内事業者

【給付金額】

- 令和3年4月・5月・6月の売上減少額(上限額は右図のとおり、算定は単月ごと)

【給付回数】

- 協力支援金として**1事業者につき1回限り**(3か月分をまとめて給付)



表3

宿泊事業者への支援 9億997万円

概要

外出自粛の影響を受ける宿泊事業者が感染拡大防止策の強化等に取り組む際の費用の一部について支援する。

対象者

宿泊事業者

補助対象

- 感染症対策に資する物品の購入経費等
- サーモグラフィやアクリル板等の導入費用
- 非接触チェックインシステムの導入やWi-Fi環境の増強等

補助率・補助上限額

補助率：各施設における事業費の2分の1

総客室数	50室以上	30～49室	10～29室	9室以下
上限額(千円)	5,000	3,000	1,000	500

表2

埼玉県酒類販売事業者等協力支援金事業

【第1期】 6億6,459万8千円 【第2期】 2億9,109万9千円

令和3年4～7月に実施されたまん延防止等重点措置等に伴う、酒類提供自粛要請の影響を大きく受けた酒類販売事業者等に対して協力支援金を給付する。また、特に甚大な影響を受けた事業者に対して**特別枠**を設け協力支援金を増額支給する。

【対象事業者】月間売上げが前年又は前々年同期比で30%以上減少している県内の酒類販売事業者等

【特別枠】対象月の月間売上げが前年又は前々年同期比で70%以上減少している事業者への協力支援金を増額

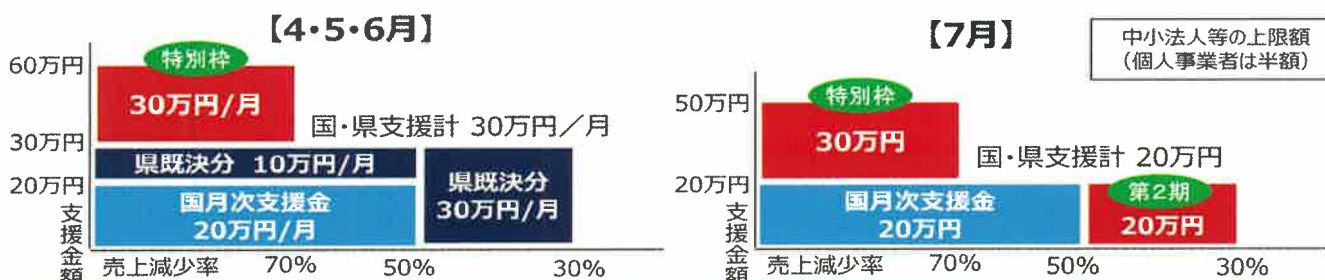


表4

地域公共交通事業者への支援 1億2,310万円

概要

業種別ガイドラインに準じた感染防止対策などを実施し利用者等に周知する地域公共交通事業者に支援金を給付する。

対象者

地域鉄道事業者、路線バス事業者、法人タクシー事業者、個人タクシー事業者

対象となる取組

- (1) 感染症対策に資する取組
光触媒の噴霧や飛散防止シートの設置等
- (2) 利用者等への周知に係る取組
ポスター掲示(車内、駅、事業所等)、車内での放送等

支援額

地域鉄道事業者	1法人ごと	500千円+35千円×車両数
路線バス事業者	1法人ごと	500千円+15千円×台数
法人タクシー事業者	1法人ごと	100千円+10千円×台数
個人タクシー事業者	1者ごと	20千円

臨時議会で【第5号】までの補正予算を議決!!

県議会は4月～6月の間に5回の臨時議会を開催し、新型コロナウイルスの感染拡大を抑えるための施策・補正予算などを議決してまいりました。

補正予算【第1号】 2月定例会にて議決

生活福祉資金の貸付原資等への補助及び飲食店等の事業者に対する感染防止対策協力金(第8期)の給付を決定
【一般会計】195億2,222万円

補正予算【第2号】 4月臨時会(4月19日)にて議決

まん延防止等重点措置の適用に伴い、飲食店等の事業者に対する感染防止対策協力金(第9期)の給付を決定
【一般会計】385億5,340万9千円

補正予算【第3号】 4月臨時会(4月27日)にて議決

まん延防止等重点措置区域の追加に伴い、同区域内の飲食店等の事業者に対する感染防止対策協力金(第9期)等の給付を決定
【一般会計】24億6,903万1千円

補正予算【第4号】 5月臨時会(5月11日)にて議決

飲食店及び大規模施設等に対する営業時間短縮等の要請に伴う協力金(第10期)の給付、及びワクチン接種体制の強化を図るための予算措置を決定
【一般会計】272億332万7千円

補正予算【第5号】 5月臨時会(5月31日)にて議決

まん延防止等重点措置期間が延長されることに伴い、飲食店等の事業者に対する協力金(第11期)の給付と感染者の急増に備えた病床・宿泊療養施設の更なる確保に要する経費などの予算措置を決定
【一般会計】509億2,571万3千円

補正予算【第2号・第3号・第4号】

感染防止対策協力金(第9期～第10期)

協力金の算定方法が売上高に応じたものに変更になります

まん延防止等重点措置区域		その他の地域	
売上高(注1)	協力金の日額	売上高(注1)	協力金の日額
10万円以下	4万円	8.3万円以下	2.5万円
10万円以上 25万円以下	4万円から10万円 ※売上高に応じて変動	8.3万円以上 25万円以下	2.5万円から7.5万円 ※売上高に応じて変動
25万円以上	10万円	25万円以上	7.5万円

注1 売上高は前年度又は前々年度の1日当たりの額
 ※売上高減少方式(大企業等)の場合は、売上高の減少額×0.4(最大20万円、下限なし)

補正予算【第5号】及び【第7号・8号】

感染防止対策協力金(第11期～第13期)

協力金の算定方法は売上高に応じたものになります

まん延防止等重点措置区域		その他の地域	
売上高(注1)	協力金の日額	売上高(注1)	協力金の日額
7.5万円以下	3万円	8.3万円以下	2.5万円
7.5万円以上 25万円以下	3万円から10万円 ※売上高×0.4	8.3万円以上 25万円以下	2.5万円から7.5万円 ※売上高×0.3
25万円以上	10万円	25万円以上	7.5万円

注1 売上高は前年度又は前々年度の1日当たりの額
 ※売上高減少方式(大企業等)の場合は、売上高の減少額×0.4(最大20万円、下限なし)



令和3年9月定例会にて一般質問に登壇致します。傍聴の様子は、埼玉県議会のインターネット中継のページにて動画でご覧頂けます。尚、現地での傍聴をご希望の方は、事務所までお問い合わせください。よろしくお願ひ申し上げます。

埼玉県デジタルトランスフォーメーション

埼玉県は現在、デジタル化を強力に推進し、社会全体のデジタルトランスフォーメーションによる快適で豊かな真に暮らしやすい、新しい埼玉県への変革を目指しています。

行政手続のオンライン化状況について

行政手続のオンライン化を図るため、申請書等に求めていた押印の**96.4%を廃止**

押印の見直し方針

◆ 認印 → 廃止
 ◆ 登記印・登録印 → 原則として廃止(印鑑証明書の提出を求め、厳格な本人確認が必要なものを除く。)

見直し結果

押印を求めた様式の総数 7,414件

押印廃止 7,149件(96.4%)

廃止済み 6,275件

廃止予定 874件

押印存続 265件(3.6%)

(存続する理由)

国の法令等 216件

県の規則等 49件(印鑑証明書を求めるもの)

(具体例)

見直し結果	対象者	様式名称
廃止	県民・事業者	県税に関する申請書・報告書
	県民・事業者	各種補助金の申請書
	県民・事業者	請求書(県からの支払いに係るもの)
存続	職員	育児休業承認請求書
	県民・事業者	委任状(マイナンバー情報の開示請求)

押印廃止などの結果、オンラインでできる手続がR3.2月と比較して**2.7倍(1,541件)**となった

行政手続のオンライン化の状況

◆ 全体の手続件数 3,830件(R3.4.1時点速報値)

・オンライン化済 R3.2月 562件 → R3.4月 **1,541件(40.2%)**

・オンライン化予定 408件(10.7%)

・オンライン化検討中 1,881件(49.1%)

今後の対応

- 「オンライン化検討中」の手続について、提出書類など押印以外の阻害要因への対応策を検討し、行政プロセスの見直しを行うことで、オンラインで受付可能な手続の増加を図る。
- 国の法令等に基づく手続について、国に対し、必要な法令等の改正を行うことを要望。

高齢者の暮らしを支えるサービス登録制度

高齢者の暮らしを支えるサービス(配送、移動販売、見守り、割引、訪問サービスなど)を実施している店舗・事業者等の情報を県の専用サイトで公開することにより、高齢者の利用を促し、高齢者の生活支援、介護予防を推進する取り組みがスタートしました。

高齢者の暮らしを支える「プラチナ・サポート・ショップ」¹

課題
 ・高齢者の増加・生活支援ニーズの多様化
 ・社会とのつながりの喪失はフレイル(虚弱)の入り口

新たな取組 **全国初**
プラチナ・サポート・ショップ
 (5月18日スタート)
 高齢者の暮らしを支えるサービス(配送、移動販売、見守り、割引、訪問サービスなど)を実施している店舗等を登録し、情報を専用サイトで公開することにより、高齢者の利用を促し、高齢者の生活支援、介護予防を推進する取組

対応
 医療や介護保険サービスのみならず、民間事業者等と連携し、多様な主体による生活サポート体制の整備が必要

具体的な仕組み
事業者の募集 (R2.8~)
プラチナ・サポート・ショップの開始
 専用サイトでは、
 ・サービス内容の紹介
 ・マップ機能、多様な検索機能

登録サービス例
 1,795件(R3.5.18現在)
 買い物支援(移動販売、配送など) イトヨーカ堂 コモディイタ など
 宅配・デリバリー(食料、日用品など) コープみらい 弁当配達事業者 など
 生活サービス(見守り、防犯など) 日本郵便 埼玉りそな銀行 など
 施設・場所貸し(貸しスペースなど) ワエルシア薬局 セン・イレブэн など

情報提供先
 ◎高齢者、家族(ケアラー)
 ◎ケアマネジャー など

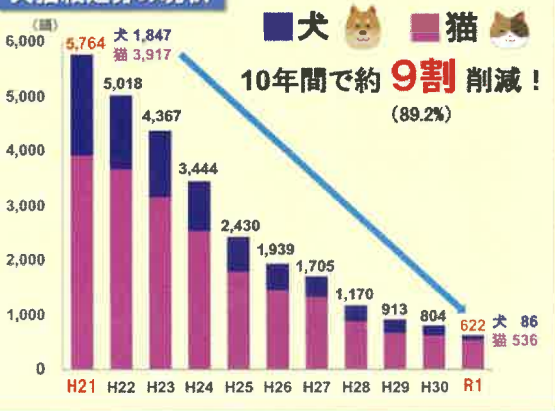
登録サービス例
 (移動販売) (見守り) ステッカー
 プラチナ・サポート・ショップ
 高齢者サービス
 埼玉県プラチナサポートショップ情報サイト

その他 出張・送迎サービス 学び・趣味 など掲載
 ※新型コロナウイルスの感染防止対策も確認
 通いの場・介護予防などの情報はこちら
 高齢者が集う通いの場、介護予防体操などの情報も掲載

プラチナ・サポート・ショップが目指す姿
 県市町村 連携
 高齢者のイキイキとした暮らし
 ⇒誰一人取り残さない社会の実現へ



犬猫殺処分の現状



県動物愛護管理推進計画の改定(令和2年度末)

計画期間
令和3年度～令和12年度

殺処分目標
 現状 令和元年度: 622頭
 目標 令和12年度: **0(ゼロ)**

「近づく」から「到達」へ

犬猫の殺処分の削減に向けた取り組みについて

●飼主の皆さまへ●

- *責任と愛情を持って、最後まで飼いましょう!
- *迷子にならないよう、名札 鑑札 やマイクロチップの装着を忘れず!

●県民の皆さまへ●

- *動物指導センターでは犬猫の譲渡を随時受付!
- *認定譲渡団体の情報は県のホームページから!

県政に対するご意見やご要望など、何かございましたらお気軽にご相談ください。お電話、メール、FAXだけでなく、事務所での相談も随時させていただきます。不在の場合が多いため、事前にご連絡を頂いてからご訪問下さるようお願いいたします。

埼玉県議会議員 **松井ひろし** 県政調査事務所

〒351-0011 朝霞市本町 3-4-17 ☎048-483-4256

FAX 048-483-4257 info@matsuihiroshi.com

ホームページ http://www.matsuihiroshi.com/index.html